



名古屋市立大学  
薬学部  
大学院薬学研究科



## CONTENTS

|       |                        |
|-------|------------------------|
| 1-2   | アドミッションポリシー            |
| 3     | 薬学部概要                  |
| 4     | 卒業研究を行う研究室             |
| 5-12  | 生命薬科学科                 |
| 7-10  | 入学から卒業まで               |
| 10-11 | 大学院進学について              |
| 12    | 卒業生からのメッセージ            |
| 13-22 | 薬学科                    |
| 15-20 | 入学から卒業まで               |
| 21    | 大学院進学について              |
| 22    | 卒業生からのメッセージ            |
| 23    | 薬学部の先輩たち               |
| 24-26 | 進路                     |
| 27-28 | 名古屋市立大学薬学部から生まれた医薬品・技術 |
| 29-30 | キャンパス案内                |
| 31    | キャンパス周辺                |
| 32    | 学生生活Q&A                |
| 33    | 名古屋市立大学薬学部に入學するには      |
| 34    | アクセス                   |

### 修得しておくべき知識等の内容・水準

#### 両学科共通

薬学部では、両学科とも広範で多様な学問分野を総合的に学習します。また、どのような分野で活躍するにしても、語学力(国語、英語)が必要とされます。したがって、薬学部での学修を実り多いものとするために、入学までに、化学、物理学、生物学、数学、語学の基礎学力をつけておくことが必要です。さらに、部活やボランティアなど、様々な活動に積極的に取り組むことで、表現力やコミュニケーション能力のほか、幅広い視野と高い倫理観、そして豊かな人間性を育むことが望ましいです。

#### 選抜方法

志望する学科に必要な幅広い知識、思考力、学習意欲、探究心、倫理観を有する学生を、以下の方法により選抜する。



## アドミッションポリシー

### 理念・目的・教育目標

薬学は、様々な基礎科学を薬に関して総合し、医療への応用を目指す学問です。

医療に不可欠な学問である薬学を志す人は、薬を通じて人類の健康と福祉の発展に貢献することが求められています。

これを踏まえ、薬学部では生命薬科学科と薬学科を設置し、薬の創製・生産・臨床応用・適正管理・適正使用のための基礎知識と創造力・研究能力を有し、世界に羽ばたける多彩な薬のスペシャリストを社会に送り出すことを目指しています。

### 求める学生像

#### 両学科共通

##### ◆薬学への強い意欲と探究心を持った人

科学としての薬学に強い学習意欲と探究心を有している人を求めます。

##### ◆医療・薬学への使命感と倫理観を持った人

薬のスペシャリストとして医療現場での薬剤師活動、医薬品の研究開発、行政などを通じて、人類の健康と福祉の発展に貢献するという使命感と倫理観を持てる人を求めます。

##### ◆科学を中心とする幅広い学力を有する人

薬学は自然科学の応用分野で、理科系の学力を重視します。しかし、薬剤師や薬学分野の研究者・技術者には、社会科学や人文社会学をも含む幅広い学問知識と教養が必要です。そのため、文科系科目に関しても基礎的な知識を有する人を求めます。

##### ◆国際的な視野とコミュニケーション能力を持てる人

医薬品研究開発や医療人としての活動において、国際的なレベルでの連携が不可欠な時代となっています。将来、国際的な視野で考え、コミュニケーションを円滑に取り、行動できる能力の獲得を目指し、そのための努力を継続できる人を求めます。

##### ◆大学院への進学意欲を持つ人

卒業後は大学院に進学して創薬・生命科学、臨床薬学の進歩に貢献しようとする強い意欲を持った人を求めます。

#### 生命薬科学科

##### ◆生命科学としての薬学への向学心を有する人

将来、基礎薬学研究や医薬品開発等を通じて、科学者として人類の健康と福祉の発展に貢献しようという情熱を有する人を求めます。

#### 薬学科

##### ◆医療人としての自覚を持てる人

将来、薬剤師として患者さんを思いやり、医療に携わる様々な職種の人々と協調して、患者さんのための医療に貢献しようという意欲のある人を求めます。

#### 【学校推薦型選抜A】

高等学校卒業レベルの基礎学力を持ち、薬学を学ぶ上で重要な科目への高い理解力と応用力を有し、意欲的で協調性に富み行動力に溢れる学生を選抜する。

調査書、志願理由書および面接試験では、理解力や判断力とともに、人間性、倫理観、協調性、向学心を評価する。

小論文試験では、化学の基礎知識、文章やデータを読み解く力、論理的思考力、英語力を評価する。

#### 【学校推薦型選抜B】

高等学校卒業レベルの基礎学力を持ち、薬学を学ぶ上で重要な科目への高い理解力と応用力を有し、意欲的で協調性に富み行動力に溢れる学生を選抜する。

大学入学共通テストでは、6教科8科目の試験を課し、基礎学力を評価する。

調査書、志願理由書および面接試験では、理解力や判断力とともに、人間性、倫理観、協調性、向学心を評価する。

#### 【一般選抜】

高等学校卒業程度の基礎学力を身につけ、特に数学、化学、英語について高い水準の学力がある人を選抜する。

大学入学共通テストでは、6教科8科目の幅広い基礎学力をはかる。

教科・科目に係る個別テストでは、数学、化学、英語を課し、理解力や応用力などを評価する。

#### 【私費外国人留学生選抜】

日本語で講義・実習を遂行できる程度の日本語能力を有し、数学、化学、英語について十分な水準の学力がある人を選抜する。

日本留学試験では、日本語、数学、理科(化学を必須とする)の基礎学力をはかる。

TOEICによって、英語力をはかる。

面接試験では、理解力や判断力とともに、人間性、倫理観、協調性、向学心を評価する。

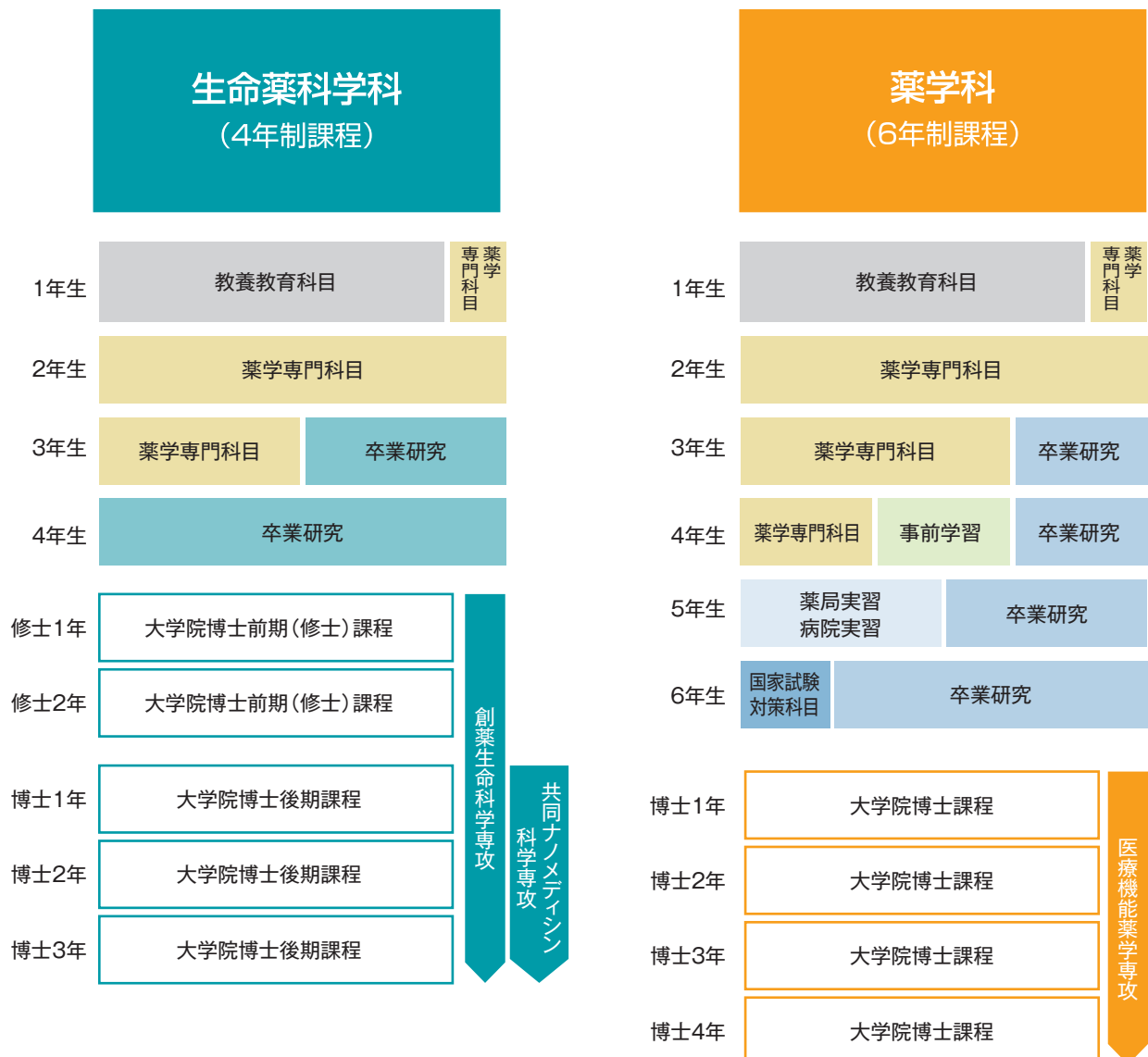
## 薬学部の概要

名古屋市立大学薬学部で、あなたの将来を切り拓いてみませんか？

### POINT

- 名古屋市立大学薬学部には、生命薬科学科と薬学科の二つの学科があります。
- 生命薬科学科では、薬と医療を中心とした科学を幅広く学び、研究の基礎を身につけます。
- 薬学科では、薬剤師に必要な知識・技能を身につけ、基礎的な研究能力も涵養します。

### 2つの学科と教育課程と大学院



## 卒業研究を行う研究室

学生は3年後期から、以下のいずれかの研究室に所属して卒業研究を行います。

| 研究室名             | 関連する疾患・キーワード                                        | 主な研究内容                                                                                    |
|------------------|-----------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 薬化学              | 創薬化学(有機化学+生物科学)、<br>光治療薬、光検査薬、抗がん剤                  | 新しい治療薬候補の探索・分子設計・化学合成・生物活性評価<br>光科学と有機化学に基づいた生命現象の化学的理解                                   |
| 生物有機化学           | 医薬化学、ケミカルバイオロジー、<br>超分子化学、中分子化合物<br>(ペプチド、核酸など)     | 機能性分子の設計・合成・機能評価、中分子化合物の立体構造と<br>活性の制御、水中での超分子化学、医薬候補化合物の探索と構造最適化                         |
| 薬品合成化学           | 有機合成化学、天然物化学、<br>生物活性物質、分子骨格構築                      | 特異な構造様式を持つ生物活性物質の全合成研究<br>新反応・方法論の開発                                                      |
| 機能分子構造学          | 有機分子構築、<br>新規有機反応開発                                 | 薬物候補分子群の効率的な合成に関する研究、複数個の原料分子を一挙<br>に連結する反応(ドミノ反応)の開発と応用                                  |
| 多階層生命機能<br>解析学   | がん、老化、神経疾患、<br>糖鎖、オミクス解析                            | オミクス解析による生体分子ネットワークの解明と創薬展開、糖タンパク質生<br>合成および糖鎖修飾機構の解明、神経・免疫系における細胞分化と機能形<br>成を制御する分子機構の解明 |
| 動的生命<br>デザイン学    | 合成生物学、細胞生物学、<br>タンパク質エンジニアリング、<br>蛍光イメージング          | 生体分子の物理化学を介して、生きた細胞内部の現象を時空間的に操作す<br>る実験技術の開発<br>操作技術の応用を通じた細胞の生理学・病理学的現象の解明              |
| 生命分子構造学          | 生物物理学、構造生物学、糖鎖生物学、<br>分子集合、アルツハイマー病                 | 生命分子(タンパク質・糖鎖)の構造・機能・動態の解明、糖鎖修飾メカニズムの<br>解明、アルツハイマー病など神経変性疾患の分子基盤解明と創薬                    |
| 分子生物薬学           | 脳神経疾患、アルツハイマー病、<br>細胞内オルガネラ、神経回路                    | 神経精神疾患の病態機構の研究、脳神経回路の研究                                                                   |
| 薬物送達学            | ドラッグデリバリーシステム(DDS)、<br>ナノメディシン、各種製剤                 | 標的化ナノDDSの創製、経肺投与DDSの創製、mRNA創薬、<br>3Dプリンター製剤                                               |
| 生薬学              | 生薬、漢方薬、機能性食品、<br>植物バイオテクノロジー、内生糸状菌                  | 漢方薬をはじめとする天然由来薬物の作用機序・有効成分の解明、<br>植物・微生物含有有用化合物の単離・生産                                     |
| 衛生化学             | 免疫制御、炎症、微生物、<br>感染症                                 | 疾患に関与する炎症反応と微生物に対する感染防御機構の解明<br>微生物由来因子の役割と治療への応用研究                                       |
| 遺伝情報学            | RNA医薬、がん、神経変性疾患、<br>ウイルス性疾患、遺伝子治療                   | 遺伝情報であるRNAの研究に基づいた細胞増殖、老化、<br>不死化の解明、人工RNAを用いた遺伝子治療、ウイルス性疾患の治療                            |
| 細胞分子<br>薬効解析学    | 肺高血圧症、循環器疾患、難病、<br>イオンチャネル、創薬                       | 循環器系難病の病態メカニズム解明とイオンチャネル機能解析<br>イオンチャネルを分子標的とした新規治療薬の創製                                   |
| 病態生化学            | 精神神経疾患、高次脳機能障害、<br>生体膜脂質、神経細胞生物学                    | 脳の発達・機能・病態における遺伝子・タンパク質・脂質の機能解明<br>遺伝子改変技術を利用した、脳の機能と病態の研究                                |
| 薬物動態制御学          | 代謝、生活習慣病、<br>ドラッグデリバリー                              | 代謝関連物質の体内動態機構と生理・病態との関わり<br>代謝関連物質の生活習慣病治療薬としての活用、デリバリー、用法                                |
| 病態解析学            | がん治療、小児がん、<br>脳保護治療                                 | 微小環境に注目したがん治療、グリアによる脳保護治療                                                                 |
| 細胞情報学            | がん、糖尿病、炎症、<br>ストレス                                  | 環境変化に対する細胞の反応とその異常に起因する疾患の研究<br>がんの生物学的特性の解明と新規分子標的薬の開発研究                                 |
| 神経薬理学            | 概日リズム、睡眠・覚醒制御、<br>行動遺伝学                             | 概日リズムと睡眠を制御する脳の機構解明<br>遺伝学手法を用いた行動制御の研究                                                   |
| レギュラトリー<br>サイエンス | 薬物安全性、腎障害、尿酸、<br>薬物トランスポーター                         | 薬物安全性評価を目的としたNew Approach methodologyの開発<br>薬物動態・毒性に関わるメカニズムの解明                           |
| 臨床薬学教育研究<br>センター | ヒト生体予測モデル、ヒトiPS細胞、<br>リアルワールドデータ、行動変容、<br>臨床製剤、創傷治療 | ヒト生体を再現する細胞モデルの開発と創薬・医療への応用<br>医薬品適正使用のための臨床研究、患者・生活者向け支援・教育の確立<br>患者に優しい製剤の開発、難溶性薬物の可溶化  |



# Faculty of Pharmaceutical Sciences

# 生命薬科学科

豊富な研究機会。  
科学的思考（サイエンティフィック・マインド）の  
訓練と実践。  
薬の科学のスペシャリストに！



## 生命薬科学科の概要

薬学は医療に不可欠な学問分野の一つです。薬学を学んだ人は、薬を通じて人類の福祉と発展に貢献することができ、様々な場面で活躍できる薬のスペシャリストになることが期待されています。

生命薬科学科では、生命・薬などに関わる「モノ」の本質を科学的な目で捉える力と国際社会に目を向けた幅広い視野を養います。これにより、医薬品開発や生命科学の探求等を通じて医療へ貢献する、薬の科学のスペシャリストを目指します。

また、大学院に進学し、最先端の生命科学・創薬科学の研究に積極的に関わることが強く期待されています。



## 生命薬科学科の特徴

### 1. 研究経験重視の教育カリキュラム

2年生前期に研究室体験ができる。  
3年生後期から研究室での本格的な卒業研究に取り組む。  
薬の科学の専門家として必要な研究発表能力・説明能力を伸ばす。

### 2. 薬に関わる様々な科学に興味に応じて学習できるカリキュラム

3年生後期では多数の薬学系専門科目から興味に応じて学習科目を選択できる。

### 3. 併設の薬学科と同じクラスで基礎薬学科目を学習するカリキュラム

薬の臨床面を学ぶ仲間を持つことで、医療現場を理解しつつ研究開発・行政を担う薬学専門家に。



# 生命薬科学科 入学から卒業まで

入学

## 1 年生



滝子キャンパス（一部は田辺通キャンパス）

大学生としての教養を学びます。  
また、薬学の専門科目も一部始まります。

### ●教養教育科目の履修

生命薬科学研究入門(薬学部キャンパス)

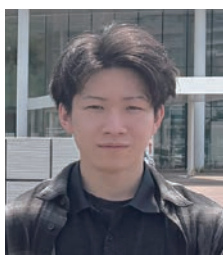
理系の基礎科目、外国語・英会話、  
体育、特色科目

### ●専門教育科目の履修

薬学概論、薬品分析化学、薬学有機化学、  
機能形態学、薬学物理化学、基礎生物化学、  
生薬学

## 生命薬科学研究入門

「『抗がん剤はなぜがんに効くの?』高校生の妹に聞かれて、薬学部  
に入学したばかりの雅治は答えに窮した・・・」与えられたシナリオ  
に基づいて徹底的に討論しながら科学的な考えを深めていく、普通の  
講義とは違うユニークな授業。



井上 慧人 さん

鳥取・湯梨浜学園高卒

生命薬科学研究入門は、PBL（Problem  
Based Learning：問題解決型授業）、研究  
室訪問、創薬人育成スクール（講演会）の  
三つから構成される授業です。

PBLでは、8～9人のグループに分かれ、  
与えられたシナリオについて議論を行います。私たちのグループは、  
インフルエンザ治療薬と薬学研究で用いられる分析手法に関するもの  
でした。シナリオを読み、グループ内で疑問点や仮説を共有します。  
授業中の調べものは禁止で、自分たちの知識のみで議論を進めます。  
その後、必要な調査項目を整理し、分担して翌週までに調査を行いま  
す。授業の最後には、他のグループに向けてプレゼンテーションを行  
います。論理的思考、議論、調査、プレゼンテーションといった研究  
活動の基礎を体験することができました。

また、研究室訪問では、自分の選んだ研究室を訪れ、研究内容の説  
明を受けたり実験を体験したりする機会があります。さらに、講演会  
では製薬企業の研究員から、実際の医薬品の研究開発の流れについて  
聞くことができました。これらの経験は、将来どのような研究分野に  
進みたいかを考える上で有益でした。

## 2 年生



田辺通キャンパス

研究室での  
研究体験が  
できます!  
(希望者)

### 前期

薬学関連の専門的な勉強が本格的に始まります。

### ●専門教育科目の履修

薬学概論、先端薬科学、機能形態学、薬学物理化学、  
機器分析化学、薬学無機化学、生物薬品化学、  
環境衛生学、薬理学、薬剤学、製剤学、生物統計学、  
有機反応化学、薬学英語

### 後期

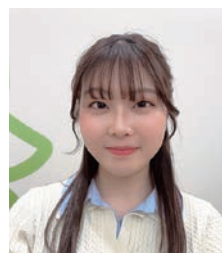
薬学の研究に必要な専門知識がどんどん増えてきます。

### ●専門教育科目の履修

薬学物理化学、生物薬品化学、  
生薬学、衛生化学、  
微生物感染症学、細胞生物学、  
薬理学、薬剤学、製剤学、  
有機反応化学、物理系実習、  
化学系実習

生命薬科学研究入門の様子

## 化学系実習



服部 真奈 さん

愛知・愛知高卒

化学系実習では、これまでに学ん  
だ理論や化学の基礎知識を生かし実  
験を通して理解を深めていきます。  
長時間集中して取り組む実験や実験  
後のレポートは時には大変と感じま

すが、その分とても充実した実習です。

実習は、目的物質の単離・精製や合成によって得られた物質  
をさらに反応させる多段階合成、得られた物質の収率測定や純  
度測定などを行います。また、生薬の鑑別や未知粉末生薬を確  
認試験によって特定する実験もあります。自分の手で実験を行  
うことで、講義だけでは分かりにくかった内容を理解できよう  
になり、反応による色の変化や生成物の形状を実際に観察す  
ることで、知識が定着しやすくなります。先生や先輩が実験操  
作について丁寧に教えてくださるため、初めて扱う実験器具や  
操作でも安心して取り組むことができます。毎日実験があるこ  
とで次第に操作にも慣れ、反応の観察や実験結果の考察を通し  
てより深い理解ができるようになります。

これらの実験は複数の研究室が順番に担当し、各分野の内容  
に沿って行われます。そのため、実習を通して各研究室の研究  
内容などを知ることができ、3年後期の研究室配属を考える良い  
機会にもなります。実習を通して実験の面白さを実感でき、今  
後の研究への意欲にもつながります。



## 前期

薬学の研究に必要な専門知識をさらに学びます。  
ここまでで、研究に必要な薬学の専門知識の  
学習がひととおり終わります。

### ●専門教育科目の履修

構造生物学、細胞生物学、医薬品代謝学、  
薬理学、臨床薬理学、免疫学、病態生化学、  
医薬品情報学、有機反応化学、薬学英語、  
有機化学演習、**生物系実習**、医療機能系実習

## 後期

研究室に所属して、卒業研究を開始します。学位の取  
得を目指して学生がそれぞれの研究テーマに取り組み  
ます。教科書で学ぶのとは違い、予め正解がある訳で  
はありません。自分自身で答えを探っていく研究の面  
白さを味わいます。

また、講義や演習でより高度な専門知識や最先端の知  
識を学びます。

### ●専門教育科目の履修

漢方薬物治療学、放射薬品学、薬理学、  
医療経済学、薬事関連法・制度、  
公衆衛生学、医薬品化学、生物有機化学

### ●卒業研究実習の履修

### ●生命薬科学科目\*の履修

### ●演習科目の履修

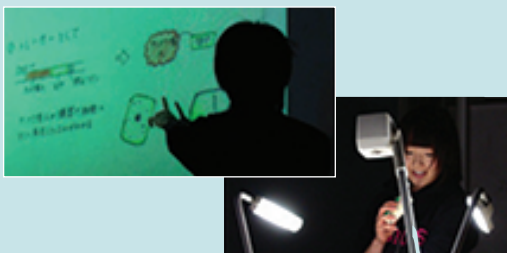
薬学情報処理演習、**プレゼンテーション演習**

\*次の科目から自由選択

有機金属化学、コロイド・高分子科学、バイオインフォマティクス、  
ケミカルバイオロジー、分子神経科学、ドラッグデリバリー論、  
創薬科学・知的財産活用論

## プレゼンテーション演習

生命薬科学の必修科目。研究者に必要な「成果を  
発表する能力」「一般の人たちに説明する能力」を養う  
演習。これからの時代を担う研究者は、社会への説明  
責任や、科学の普及も大切な役目となる。この時に役立つ  
「プレゼンテーション能力」を身につける。



## 生物系実習



黒土 なな さん

愛知・西春高卒

生物系実習では、抗体やDNAといっ  
た非常に小さな生体分子を私たちにも見  
える形にする方法や、細菌や細胞を培養  
する方法などが学べる実験を行います。  
中には自分自身の生体成分を用いた実験  
もあり、それまで教科書の中の存在だっ  
た生物学の知識を、「自分の体の中でこうやって働いてくれているのだ  
な」と身近に感じることができるのがこの実習の魅力の一つです。

実習では、わからないことや繊細な操作があって不安に感じたり、  
レポートに追われて忙しく感じたりすることもあります。しかし、先生や先輩に  
教えていただいたり、グループで話し合ったりしながら進めることで、楽しみ  
ながら乗り越えることができます。また、ドラマでしか見たことがないような  
実験操作を経験できることもあり、テンションが上がることもあります。

こうした毎日の実験を通して、自分の実験操作や考え方が着実に成長  
していることを実感できます。そして、その経験は、3年次後期から始まる  
研究室での研究生活においても自信をもって取り組むための大きな支えにな  
ると思います。

## 生命薬科学科目

生命薬科学の履修科目。専門的な最先端科学に関する科目を自由  
に選択して履修する。研究室の先生から先端研究に関する講義を受け  
られる。



高橋 諒 さん

愛知・明和高卒

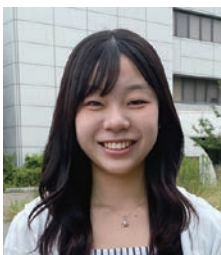
薬学科、生命薬科学の両学科とも  
に3年生の後期から研究室に配属さ  
れ、さらに生命薬科学科目の履修を  
行います。幅広い分野の中から自分が興  
味のあるものについて自由に履修す  
ることができ、3年生前期までに学習した内容よりも、さらに専門  
的な内容を学ぶことができます。私は、有機化学に興味があり、有  
機化学系の研究室に配属となったため、「ケミカルバイオロジー」  
と「有機金属化学」を履修しました。これらの授業を通して、よ  
り専門的な知識を身につけることができました。

研究室に入ると、初めは先生や先輩に教わりながら、実験手技  
を磨いたり、知識を身につけていきます。一番の魅力は、今まで  
学習してきた内容が机上の空論ではなく、実際に起こる現象とし  
て、自分の手で再現し、自分の目で確認できるというところにあ  
ると思います。いい結果が出たときはもちろん、予期せぬことが  
起こったときにその原因を考察することも楽しいところであり、  
充実した日々を送ることができています。

それぞれの研究室で、1年間じっくり卒業研究に打ち込みます。大学院生の先輩の姿を見ながら、本格的な研究について学びます。自分自身で研究し、見いだした成果を卒業論文にまとめます。

- 生命薬科学演習の履修
- 薬学特別演習の履修
- 卒業研究実習の履修

### 生命薬科学演習



舘 沙也加 さん

愛知・滝高卒

生命薬科学演習では、PBLチューターとして1年生の学びを支援するとともに、企業・研究所見学を通じて実践的な理解を深めました。チューターとして議論が円滑に進むよう見守り、必要に応じて助言を行う中で、自身の理解を再確認するとともに、後輩の柔軟な発想から多くの刺激を受けました。

一方で、本科目の大きな魅力は充実した研究所見学にあります。日帰り見学では複数の企業から選択でき、私は興和名古屋工場を訪問しました。また一泊二日で京都の日本新薬創薬研究所、住友ファーマ鈴鹿工場を訪問しました。最前線の研究や製造の現場を体感し、丁寧なご説明や現場で働く方々との対話を通じて、大学の授業だけでは得られない製薬の工夫や研究のリアルに触れることができました。将来を考える時期に、実際の現場を自分の目と耳で体験できる本プログラムは、本学ならではの魅力であり、進路選択において非常に有意義な経験となりました。



### 卒業研究実習



増井 温輝 さん

北海道・小樽潮陵高卒

私たちの学部では、3年生の後期から研究室配属が始まります。有機系・物理系・生物系・医療系と分野が幅広く、どこを選べばいいか迷うかもしれませんが、低学年のうちから研究室を訪問したり、

配属前には説明会も開催されるため、自分の興味に合わせてじっくりと進む道を選ぶことができます。

配属後は、先生や先輩方が実験の手法を一から丁寧に教えてくださいます。研究テーマは、先生と一緒に決めることもあれば自分の興味を形にする場合もあり、研究室ごとにカラーが違います。日々の実験では試行錯誤の連続で苦労もありますが、その分、結果が出た時の達成感は何にも代えがたいものです。卒業研究を通じて、高度な専門技術だけでなく、物事のつながりを論理的に考える力や協調性など、多くのことを学べます。ここで培った経験は、社会に出た際も皆さんを支える大きな力になるはずです。

### ブラウィジャヤ大学での交換留学プログラム体験談



福本 恭吾 さん 山口・山口高卒

インドネシアのブラウィジャヤ大学での短期研修では、持続可能な畜産および動物福祉について、講義と施設見学を通して学びました。特に人工授精センターの見学では、家畜の健康管理や飼育環境が動物の状態に及ぼす影響を理解し、適切な管理の重要性を認識しました。これらは、実験動物を用いた研究においても、飼育環境やストレスが生体反応に影響する点で共通しており、自身の研究との関連を実感しました。また、熱帯地域という日本とは異なる環境や文化の中で、人と動物の関係性の捉え方が多様であることを知り、動物福祉の在り方が一様ではないことを学びました。さらに、現地学生との交流や最終プレゼンテーションでは、英語で積極的に意見交換を行いました。本研修は、持続可能な畜産や動物福祉への理解を深めるとともに、自身の研究とのつながりを再認識する貴重な機会となりました。今後は、本研修で得た学びを研究に活かしていきたいと考えています。

大学院

さらに  
本格的な研究を  
続けます

修士課程

博士課程

社会へ

修了

修士・博士の学位を取得し  
薬の科学の専門家として、  
社会の様々な場面で活躍します。

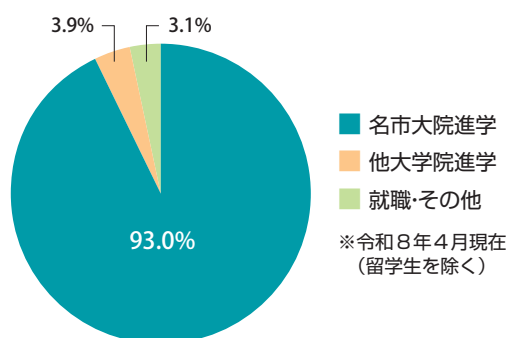
## 大学院進学について

大学院では研究室に所属し、研究活動を行います。研究内容は、有機化学、物理化学、生化学、薬理学、など多岐にわたりますが、いわゆる学生実習とは全く異なり、世界中の誰も知らない未知な事象が対象です。皆さんが得る実験結果は、研究に従事した皆さんが世界ではじめて手にする内容なのです。研究内容は国内外の学会で発表され、著名な学術雑誌に報告されます。

生命薬科学科では、3年後期から約1年半の期間、卒業研究を行います。研究者として自立した力を身につけるためには十分とは言えません。そのため生命薬科学科は大学院博士課程と連携しており、大学院への進学が強く望まれています。名古屋市立大学には、博士前期課程（2年間）と博士後期課程（3年間）からなる大学院が設置されています。



研究風景



### 生命薬科学科は大学院博士課程と連携

研究者・技術者としての基礎を  
身につける

薬学部・生命薬科学科

4年間

学士(薬科学)取得

問題解決能力を  
身につける

薬学研究科  
大学院博士前期課程

2年間

修士(薬科学)取得

自立した研究者となるには  
最低限必要

課題設定能力を  
身につける

薬学研究科  
大学院博士後期課程

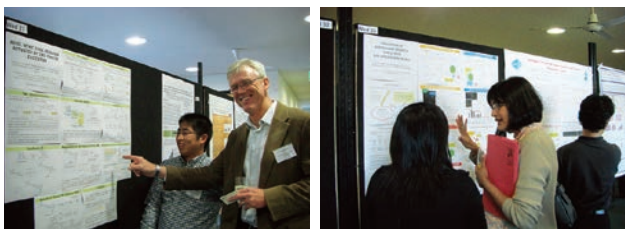
3年間

博士(薬科学)取得

# 生命薬科学科

## 国際学会発表支援制度（大学院生）

本学では、大学院生を対象に「国際学会発表支援制度」を充実させています。海外の国際学会で自ら発表する学生には、旅費及び滞在費が支援されます。世界の研究者の前で、皆さんの研究成果を発表してみませんか？



## 大学院博士後期課程について

2年間の博士前期課程を修了後、さらに研究能力を高め、世界で活躍できる自立した研究者を目指す人は、3年間の博士後期課程に進学することができます。博士後期課程では、本学の創薬生命科学専攻に所属する教員の指導を受け、最先端の研究を行い、研究者としての専門的な能力を身につけます。また、本学は名古屋工業大学との共同大学院として共同ナノメディン科学専攻を設置しています。この専攻では、薬学の強みである薬に関する先進的な科学と、工学の強みである最先端のテクノロジーの両方を学ぶことができます。博士後期課程修了後には、創薬科学、生命科学の研究者あるいは薬工融合型の人材として幅広く活躍することが期待されています。

## 大学院進学後の進路について

平成18年度から全国の薬学部ほとんどが6年制となり、大学院と連携して教育・研究を行う4年制学科は貴重な存在となりました。そのため高い研究能力をもち、薬学の知識・技能を学んだ研究者は、多様な業種からの需要が期待されます。大学院修了後は、以下のような進路が考えられます。

### 想定される進路

産業財産権関係  
弁理士  
技術移転機関(TLO)

製薬企業  
創薬研究者  
開発研究者  
医療情報担当者(MR)

行政関係  
国家公務員  
地方公務員

化学工学系企業  
(食品、化粧品等)  
研究部門 開発部門  
生産部門

マスコミ関係  
サイエンスライター  
科学ジャーナリスト

治験関連ビジネス  
治験施設支援機関(SMO)  
開発業務受託機関(CRO)

大学や公的研究機関の  
研究者

## 大学院生からのメッセージ



逸見 峻輔 さん

長野・伊那北高卒

研究能力の育成に特化した本学科・大学院への進学は、研究者を志す人にとって非常に価値のある選択です。早期から高度な研究環境に身を置き、継続して研究に取り組むことで、確かな専門性の土台を築くことができます。

私が取り組んでいるイオンチャネルの研究では、細胞から動物個体までを対象とし、膨大な検討と正確な実験の積み重ねが不可欠です。そのため、一貫した環境で十分な時間をかけて研究できることは、新規性や再現性を高める上で比較的大きな利点といえます。

大学院での学びは知識の習得にとどまりません。未知の課題に対して先生や先輩と議論し、仮説検証を重ねる中で、論理的かつ柔軟な思考力が養われます。これは研究の基盤であると同時に、一人の人間としての魅力を最大限に引き出す重要な要素にもなります。

幅広い学問を基盤として学べる本学には、自分次第で大きく成長できる環境が整っています。そして、将来のビジョンを主体的に切り拓けることが、大きな魅力だと考えています。

## 大学院生からのメッセージ



武田 百佳 さん

大阪・四條畷高卒

生命薬科学科の学生は、長期間の実務実習がある薬学科と異なり、博士前期課程に進学して約3年半の間、継続して研究に従事することが多いです。私は現在、病態生化学研究室で脂質について研究しています。研究を始めるまで、脂質は五大栄養素の一つで、細胞膜の成分であるとししか認識していませんでした。しかし研究を進める中で、脂質は細胞の働きや脳の発達を精密に制御していることを知り、脂質の見え方が一変しました。生体内には多様な脂質が存在し、個々の機能の多くはまだ十分に理解されていません。未知の部分が多いからこそ、自らの手で新たな現象を解明できるかもしれないという期待感があり、研究の原動力になっています。

薬学は「薬剤師になるための学問」であるというイメージを持つ方が多いと思います。しかし実際は、薬剤師に限らず医薬品開発や生命科学の探求を通じて医療へ貢献するために重要な学問です。創薬や生命科学に興味がある方は、ぜひ生命薬科学科で研究を通して科学の面白さを体験してみてください。

## 卒業生 からのメッセージ



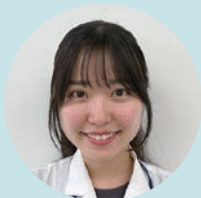
梶野 真也 さん

塩野義製薬株式会社  
R2年博士前期課程修了  
三重・津高卒

私は高校生の時、「人のためになる職業に就きたい」という漠然とした想いしかありませんでした。そして、なんとなく薬学部生命薬科学科に入学しました。こんな私ですが、卒業した今、「自分が開発した薬を世の中に出し、人々の健康に貢献したい」という大きな夢を持ち、製薬会社で薬の開発業務に進むことができている。このような夢を持つことができたのは、間違いなく生命薬科学科で学び成長することができたからです。

生命薬科学科では3年次から研究室に配属されるため、早期から研究に取り組むことで、発想力や論理的思考力を培うことができます。また、本学の生命薬科学科には大きな特徴があります。それは、先輩や後輩との繋がりが非常に強いことです。研究室の仲間はもちろん、研究室外の仲間とも交流する機会が多く、常に切磋琢磨しながら成長できる環境が整っています。そのような環境で、私は自分の夢を見つけることができました。

皆さんも将来の夢や目標が決まっていなくて多い人ではないでしょうか？本学はその夢や目標を見つけるための大きな助けとなることと思います。



鯨井 千実 さん

森永乳業株式会社  
R5年博士前期課程修了  
東京・東京学芸大学附属高卒

私は高校生の頃、「食」を通じて人の健康に貢献したいと考え、健康に関する知識を体系的に学べる薬学部を選びました。現在は食品メーカーで機能性素材の研究に携わり、基礎研究から臨床試験、素材の価値を発信する業務まで幅広く担当しています。

食品分野は医薬とは異なるように感じられるかもしれませんが、本学で横断的に学んだ知識や早期から研究に取り組んだ経験は、科学的思考力や探究力、試行錯誤を重ねながら粘り強く考える姿勢を育み、現在の私を支える土台となっています。

また、振り返ると、人との関わりの深さも本学の大きな魅力だと感じています。研究室での先生方とのディスカッションに加え、オリター活動やサークル活動を通じて、学年を超えて多様な人と関わる機会に恵まれました。こうした経験で培った対話力や協働する姿勢は、社会に出た今もさまざまな場面で生きています。

皆さんもぜひ本学で多くの経験と出会いを重ね、自分自身の可能性に挑戦してみてください。



深谷 壮弥 さん

独立行政法人医薬品医療機器総合機構  
R5年博士前期課程修了  
愛知・刈谷高卒

私は独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）で医療機器の審査に携わっています。学生時代はiPS細胞を活用した薬物動態の研究を行っており、当時の自分は医療機器の審査に携わる未来を全く想像していませんでした。医療機器審査部への配属当初は、分からないことばかりで戸惑うこともありましたが、「何が分かっている、何が分かっているのか」を整理し、必要な情報を集め、一つずつ考える過程は、研究生活で繰り返していたことと共通していました。研究室での経験は知識や技術だけでなく、物事に向き合う姿勢を育ててくれたのだと感じます。名市大薬学部では、薬学の知識だけでなく、研究や先生方・仲間との関わりを通して、課題に向き合い、自分なりに考え抜く力を身につけることができます。入学時に将来の進路が決まっていなくても、学びや人との出会いの中で、新しい興味や目標が見つかると思います。皆さんの学生生活が、将来につながる多くの経験にあふれたものになることを願っています。



中島 七海 さん

小野薬品工業株式会社  
R5年博士前期課程修了  
徳島・城東高卒

高校生の時に家族を亡くした経験から、「画期的な新薬を開発し、現代の医療では救えない患者さんを助けたい」と考え、薬学部生命薬科学科に入学しました。

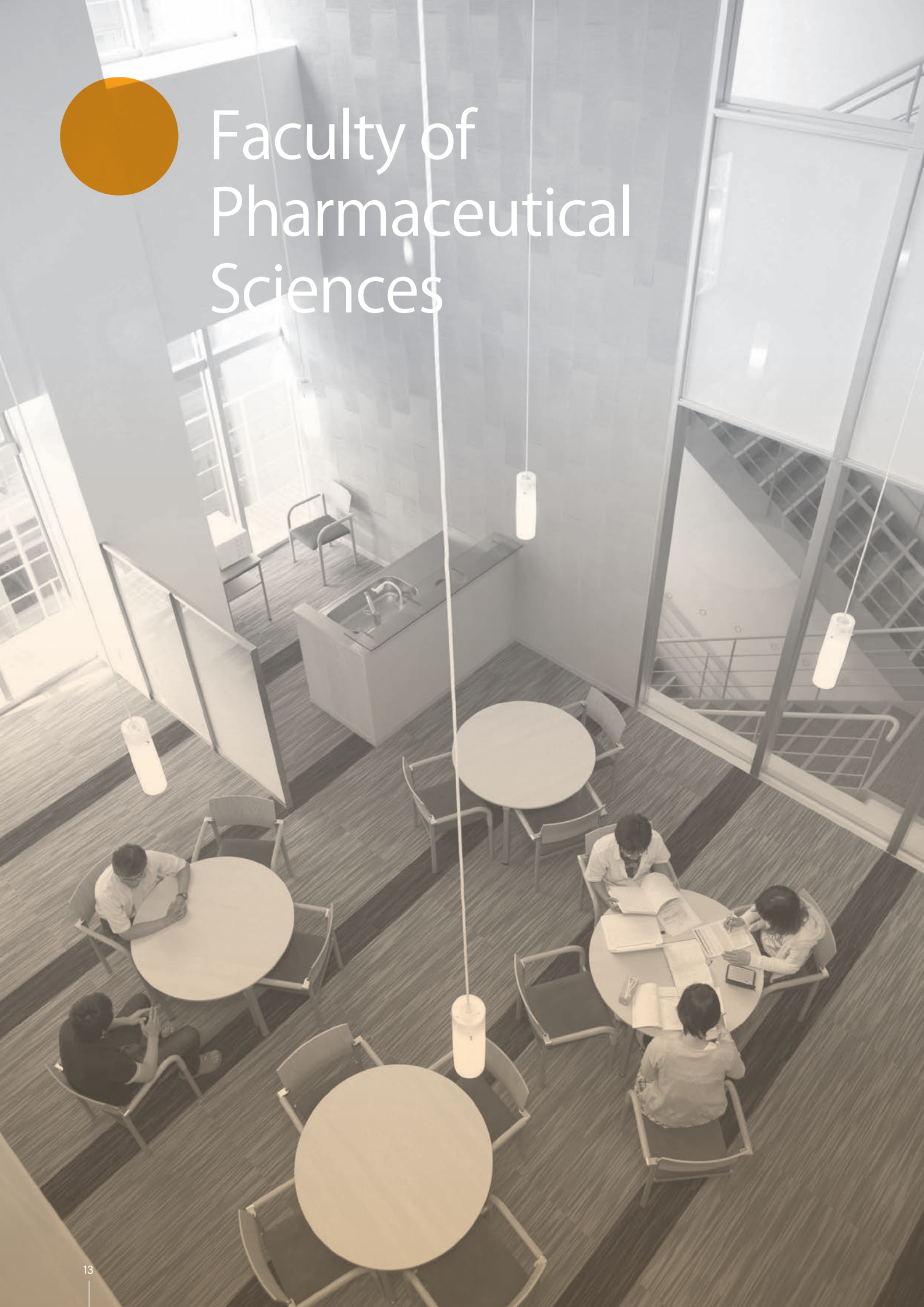
大学では基礎知識の習得に加え、実習を通して化学・生物・物理化学の幅広い実験を経験できます。また、自分に最も適した研究室を主体的に選択し、大学院修了まで腰を据えて研究力を磨くことができました。研究は思い通りに進まないことも多いですが、指導して下さる先生方や先輩、支え合える同期に恵まれ、試行錯誤を重ねながら充実した日々を過ごしました。

こうした経験が糧となり、現在は製薬企業の研究者として新薬開発に携わっています。仕事を通じて本学の研究室の紹介を依頼されることや、他社に就職した先輩と学会で再会する機会もあり、卒業後も本学とのつながりや影響力の大きさを実感しています。

皆さんが本学で学び、夢を実現されることを心より願っています。



# Faculty of Pharmaceutical Sciences





# 薬学科

患者さんから信頼される医療チームの  
一員となって最先端の医療に参加しませんか？  
広い視野を持って未来の医療を担う  
人間性豊かな薬のスペシャリストに！



## 薬学科の概要

これからの医療では異なる医療専門家がチームとなって治療を行うことが求められています。薬剤師は、薬の専門家として患者さんに対して、また、医療チームの中でも重要な役割を担っています。薬学科では、広い視野、コミュニケーション能力と豊かな人間性を持った、医療、行政、教育、研究及び産業分野で活躍する薬剤師の育成を目指します。



## 薬学科の特徴

### 1. 医学科、保健医療学科と一緒に医療について学べるカリキュラム

臨床体験、BLS（Basic Life Support）講習や医療系学部連携チームによる地域参加型学習などを学べる早期体験学習があります。

### 2. 創薬から臨床、そして最先端の研究にわたって学べるカリキュラム

薬学科では以下のような目的意識をもって学べる講義を開講しています。

- ・ 薬を作る最先端の研究を学ぶ。
- ・ 診断、治療についての考え方を学ぶ。
- ・ 高度な医療や創薬について学ぶ。

### 3. 広い視野をもった医療人としての自覚と、薬剤師としての知識、技量を学ぶカリキュラム

病院、薬局で医療に携わっている薬剤師や医師から臨床について学ぶ講義を開講しています。

### 4. 医療や創薬についての研究ができるカリキュラム

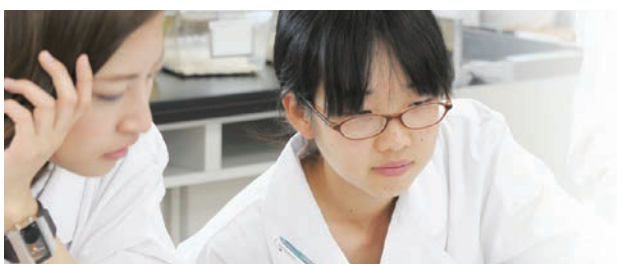
3年次後期より各研究室へ配属され、医療や創薬に関する研究を行います。

### 5. 臨床薬学の進歩に貢献する人材の育成

臨床薬学の進歩に貢献する、指導的な人材、研究者及び教育者を養成するため、大学院を設置しています。

### 6. 卒業後も教育研修の機会がある大学

薬剤師学び直しやリカレント(生涯学習)教育に実績があり、卒業後も最新・最先端の医療について学べる講座を開講しています。



## 薬学科 入学から卒業まで

入学

1 年生



滝子キャンパス（一部は田辺通キャンパス）

大学生としての教養を学びます。  
また、薬学専門科目も一部始まります。

## ●教養教育科目の履修

医療系多職種連携教育基礎

理系の基礎科目、外国語・英会話、  
体育、特色科目

## ●専門教育科目の履修

薬学概論、薬品分析化学、薬学有機化学、  
生薬学、基礎生物化学、機能形態学、薬学物理化学

## 医療系多職種連携教育基礎



吉田 花緒 さん

愛知・明和高卒

名古屋市立大学多職種連携教育では、医学・薬学・看護学・リハビリテーション学の学生が集まり、一年を通して様々な活動に取り組みます。まず前期には、医療安全、感染対策、情報リテラシーに関する講義や一次救命処置、コミュニケーション演習、臨床体験などの実習が合同で行われます。これらを通してそれぞれの専門職の役割や強み、考え方の違いを理解し、「チーム医療」とは何かを実感することができます。そして後期の授業はグループごとの地域参加型学習が中心となります。医学・薬学・看護学・リハビリテーション学の混成グループで名古屋市内の様々な施設を訪問し、地域における医療や福祉の役割について学びます。住民や職員の方々との交流を通して地域の課題を知り、グループで話し合いながら解決策を考え、最後に成果発表を行います。一年間の経験を経て自分の価値観や目指す姿を見つめ直し、自分がどのような医療者になりたいのかを改めて考えることができるとも魅力的な授業となっています。

2 年生



田辺通キャンパス

## 前期

薬学関連の専門的な勉強が本格的に始まります。

## ●専門教育科目の履修

薬学概論、先端薬科学、機能形態学、薬学物理化学、  
機器分析化学、薬学無機化学、生物薬品化学、環境衛生学、  
薬理学、薬剤学、製剤学、生物統計学、有機反応化学、  
薬学英語、地域医療学基礎

## 後期

薬学に必要な専門知識がどんどん増えてきます。

## ●専門教育科目の履修

薬学物理化学、生物薬品化学、衛生化学、  
微生物感染症学、細胞生物学、生薬学、薬理学、  
薬剤学、製剤学、有機反応化学、物理系実習、  
化学系実習



早期体験学習（看護体験）



早期体験学習（BLS）

3

年生

卒業研究  
スタート

## 前期

薬学に必要な知識をさらに学びます。

## ●専門教育科目の履修

構造生物学、細胞生物学、医薬品代謝学、薬理学、臨床薬理学、免疫学、病態生化学、医薬品情報学、有機反応化学、薬学英语、有機化学演習、生物系実習、医療機能系実習、地域医療学応用、卒業研究実習

## 後期

さらに専門的な薬学の知識を学びます。  
研究室に配属になり卒業研究が始まります。

## ●専門教育科目の履修

漢方薬物治療学、放射薬品学、薬理学、医療経済学、薬事関連法・制度、公衆衛生学、医薬品化学、生物有機化学、有機金属化学、コロイド・高分子科学、バイオインフォマティクス、ケミカルバイオロジー、分子神経科学、ドラッグデリバリー論、創薬科学・知的財産活用論、薬学情報処理演習、プレゼンテーション演習、基礎薬学演習、地域医療学応用

## 薬学科講義科目



森 悠旗 さん

愛知・一宮高卒

3年次には、薬学の基盤となる薬理学、免疫学、医薬品代謝学などを中心に、医薬品の作用機序や体内動態に加え、食品や生活環境と健康との関係について多角的に学びます。前期には生物・医療系実習があり、細胞を用いた遺伝子操作、微生物による抗生物質感受性試験、実験動物を用いた薬効解析などを、少人数のグループで実施します。実験後には結果を基に議論を重ねることで理解を深め、協働して課題に取り組む力を養います。後期には、医療制度や社会との関わりを学ぶ医療経済学に加え、病気や病態を題材とした基礎薬学演習が行われます。模擬患者の生活状況や服薬履歴、臨床検査値などの情報を基に、グループごとに治療方法や改善策を検討し、発表します。これらの学びを通して、医薬品が医療現場のみならず社会全体の中で果たす役割を体系的に理解します。さらに後期からは研究室に配属され、卒業研究が始まります。これまでに修得した知識を統合し、自ら課題を設定し考察し、その成果を発信する力を身につけていきます。

4

年生

## 前期

臨床に関する講義が始まります。

## ●専門教育科目の履修

薬局管理学、医療薬学、卒業研究実習、地域医療学発展



## 薬学科講義科目



堀田 真菜 さん

愛知・金城学院高卒

4年次前期の専門科目では、1～3年次に学んだ薬の働きや体の仕組みなどの基礎知識を総合的に活用しながら学習を進めます。数多くの疾患について、病気が起きる仕組みや治療に使われる薬の作用、副作用を関連付けて学びます。ここでは単に知識を暗記するのではなく、患者さんの年齢や生活背景、検査値まで理解し、一人ひとりに適した薬物治療について考える力を養います。

授業では複数の科目の知識を組み合わせることで問題を解く機会が多く、これまで別々に学んできた「点」の知識が「線」でつながり、臨床現場で活用できる体系的な知識へと変わっていく実感を得られます。この過程で大きな達成感を得られると同時に、薬学の面白さや重要性を身に沁みて感じられることが特徴です。

積み上げてきた知識や考え方は、5年次の薬局・病院実務実習の基盤となり、将来薬剤師として患者さんと向き合う際にも活かされます。基礎と臨床をつなぐ重要な学びの期間になっています。



## 共用試験

OSCE: Objective Structured Clinical Examination  
(客観的臨床能力試験)、  
CBT: Computer Based Testing (知識試験)

## 後期

後期には実務実習事前学習と共用試験があります。

## ●専門教育科目の履修

薬学演習、臨床薬学実務実習（事前学習）、卒業研究実習

## 実務実習（事前学習）

4年次に実務実習（薬局実習・病院実習）に必要な知識と技能と態度を身につけるために行われます。処方せんや医薬品に関する講義、調剤や服薬指導など薬剤師業務に直結した実習を行います。



人体シミュレーターによる  
聴診器使用法の習得



模擬病室

## 実務実習（事前学習）



大久保 美海 さん

鹿児島・種子島中央高卒

4年次の実務実習（事前学習）では、5年次からの薬局・病院実習に向け、これまでの講義で得た知識を臨床に繋げる実践的な内容を学びました。具体的には、調剤業務や患者対応、服薬指導のシミュレーションに加え、現場で活躍する薬剤師の先生方による講話や、グループでの症例検討等を行いました。模擬患者とのやりとりを通じ、薬剤師の具体的な業務をより鮮明にイメージすることができましたし、また、先生方の講話からは、チーム医療や地域医療における薬剤師の多角的な役割を、低学年時よりも一層深く理解することができました。この2ヶ月間の学習は、教科書上の知識が現場でどのように活用されているかを知る貴重な機会となりました。机上の学問とはひと味違う、より臨床に近い学びができ、病院・薬局実習への期待が大きく膨らんだとともに、実際の医療現場へ向かうための心構えを整えることができました。

## 共用試験（OSCE・CBT）

4年次に実務実習を行うための知識や技能が備わっているかを問う試験です。

OSCE (objective structured clinical examination) では、調剤の技術や、患者さんへの服薬指導などが適切に行えるかどうかが問われます。CBT (computer based testing) では、薬物治療のみならず、生化学・有機化学・物理化学の基礎的な知識も問われます。

これらの試験は、4年次の12月から1月にかけて行われます。この両方に合格しないと、実務実習を行うことはできません。



OSCE 無菌操作の実技試験

## CBT例題

1. 日本人の死亡原因の第1位はどれか  
a. 心疾患 b. 肺炎  
c. 悪性新生物  
d. 自殺 e. 脳血管障害
2. 麻薬に分類される薬剤はどれか  
a. バルビタール  
b. エフェドリン  
c. モルヒネ  
d. アンフェタミン  
e. ペンタゾシン

## 共用試験体験談



本田 紀歌 さん

佐賀・佐賀西高卒

4年次の事前学習が終わると、OSCE、CBTという共用試験が実施されます。

OSCEでは、服薬指導や調剤、監査などを実際に行い、処方箋から情報を読み取り、正しい手順で調剤をする力や患者さんとコミュニケーションを取る力が問われます。OSCE本番はとても緊張しましたが、事前学習で何度も練習するため、自信を持って臨むことができました。CBTでは、物理、化学、生物の基礎的な問題から、薬理や薬物動態、医療薬学などの、より臨床的な問題まで、幅広い内容が出題されます。CBTに向けて4年次までに学習したことを復習していく中で、様々な分野での学びが繋がり、より勉強が面白く感じられるようになりました。また、自分が苦手だと思っていた分野についても改めて学び直すきっかけにもなりました。

OSCE、CBTは実務実習に進むために越えなければならない壁ではありますが、改めて薬学の面白さに気付くことができる、とても良い機会になりました。

# 5年生

病院や保険薬局での実務実習が始まります。

## ●専門教育科目の履修

臨床薬学実務実習（病院実習）

臨床薬学実務実習（保険薬局実習）

卒業研究実習、地域医療学実践



## 薬局実習体験談



大矢 蒼さん

滋賀・膳所高卒

私が実習させていただいた薬局は皮膚科の門前だったため、症状に合わせた外用薬の混合調剤など、皮膚科特有の高度な調剤技術を数多く学ぶことができました。

また、在宅医療や施設往診にも注力しており、実際に患者さんのご自宅を訪問しての服薬管理や指導に携わったことは、普段の生活の中で患者さんが何に困っているのかを肌で感じることができ、現場ならではの深い学びがありました。

現場では、単に薬を揃えるだけでなく、嚥下困難な方への錠剤の粉碎や、飲み忘れを防ぐための一包化など、個々の患者さんの状況に合わせた細やかな配慮が求められました。さらに、糖尿病の患者さんに対しては、医師や栄養士といった多職種と連携し、食事改善の提案などにも関わらせていただくことができ、チーム医療の重要性を肌で感じました。

5年生になると進路をある程度絞っている人も多いかと思いますが、広い視野を持って実習に積極的に取り組めば、どの道に進むとしても今後の糧となる一生ものの経験ができるはずです。

## 実務実習（病院実習、薬局実習）

病院及び調剤薬局においてそれぞれ11週間の実務実習を行います。実際の業務を体験し、薬剤師としての知識、技能、態度を習得します。

病院実習は名古屋市立大学病院はじめ東海地区の病院で行われ、病棟での服薬指導や医師、看護師、他の医療従事者とチームで医療に携わることなどを学びます。

薬局実習は主に愛知県内の調剤薬局で行います。それぞれの薬局に1～2名の実習生が配属され、調剤や服薬指導を学びます。



病院薬剤部での調剤



## 病院実習体験談



倉田 菜名さん

茨城・清真学園高卒

病院実習では、病棟での服薬指導をはじめ、調剤、抗がん剤の無菌調製、注射剤の監査、さらにはチームカンファレンスへの参加など、病院薬剤師が担う幅広い業務を網羅的に体験します。

病棟では、患者さん一人ひとりの背景や理解度に合わせた柔軟な関わりの重要性を実感しました。伝える情報を取捨選択したり、専門用語を避けて分かりやすい言葉に置き換えて説明したりという伝え方の工夫を施すことで、患者さんやご家族の方々のアドヒアランス向上に繋げることができました。

また、チームカンファレンスへの参加を通じて、チーム医療の中での薬剤師の存在意義を改めて再認識しました。医師や看護師をはじめとする他職種の方々と情報を共有し、副作用モニタリングや用法用量について薬学的知見に基づいた提案を行うことで、薬物治療の最適化に大きく貢献できるということを学びました。



薬局実習風景

## 薬剤師国家試験

## 博士課程

臨床薬学の  
研究の推進

卒業研究のまとめと薬剤師国家試験に向けた準備を行います。

## ●専門教育科目の履修

薬学演習、臨床薬学実習、卒業研究実習

## 薬 剤 師 国 家 試 験

平成24年に新制度の薬剤師国家試験が始まりました。問題数、特に実務系の問題が大幅に増加し、より実践に即した出題形式に変わり、問題解決能力が問われるようになりました。複合問題も多く出題され、今まで以上に科目の壁を越えた知識が要求されています。新制度における薬剤師国家試験で本学は、この5カ年で平均合格率（新卒）88.81%と全国平均を上回っています。



医療、行政、教育、研究及び産業分野  
で薬学の専門家として社会へ



## COLUMN

## 南カリフォルニア大学臨床薬学研修体験記

木原 星衣 さん

東京・晃華学園高卒

(写真左端)



私は、米国ロサンゼルスにある南カリフォルニア大学での臨床薬学研修に参加しました。

研修には、日本、韓国、中国、台湾などのアジア諸国の薬学生が約70名参加し、講義、グループワーク、薬局の見学ツアーなどが行われました。講義は、糖尿病の治療薬に焦点を当てて行われました。症例検討などの臨床的なものだけでなく、薬の立体構造から薬物動態を検討するなどの基礎科学的な講義もありました。もちろんすべての講義が英語で行われ、毎日の復習が大変でしたが、様々な視点から薬を見るという経験ができました。また、講義中のディスカッションやグループワークを通して、各国の学生と活発に意見を交換したり、各国の薬剤師の現状を知ることができました。米国の薬剤師は、治療計画の立案や処方の変更を行うなど、薬のエキスパートとして尊重され、患者の薬物治療に重い責任を担っています。現地の病院薬剤師の先生のお話を聞き、日本の薬剤師がもっと活躍していくために必要なことは何か、自分にできることは何かを深く考えさせられました。この研修を通じて、世界という広い視点から、日本の薬学教育や薬剤師の未来を考えるという貴重な機会を得ることができました。

## 卒業研究



三井 すずか さん

東京・国分寺高卒

薬学科では3年次後期に研究室に配属され、6年次まで卒業研究に取り組めます。私は薬剤師の社会貢献に関する研究がしたいと考え、地域の薬局と連携して研究を行っている研究室を希望しました。

配属後は、お薬を飲んだ後のシートを薬局で回収することで、SDGsを推進し同時に飲んだ数を数えて薬剤師の患者指導に活かせるかという研究を進めています。臨床現場の研究ではなかなか思うような結果が出ないことが多く大変だと思うこともありますが、研究室の仲間や先生だけでなく医療現場の先生方や企業の方とも連携しているため、様々な角度からアドバイスをいただき、さらにディスカッションを通した新しい発見もあり乗り越えることができています。

研究成果は学外での学会で発表する機会もあり、私はポスター発表を行った学会では学生優秀賞をいただくことができました。研究室での学びを通して薬剤師に必要な研究能力をしっかりと身につけることができると 생각합니다。

## 薬剤師国家試験



武田 涼馬 さん

愛知・東海高卒

薬剤師国家試験は、6年間の講義や実習で学んだ知識から出題されます。試験問題は単なる専門知識の暗記ではなく、医療現場で求められる実践的な判断力や応用力が問われます。

全ての科目に合格基準があるため、苦手分野を作らずバランスよく学習を進めることが重要です。

近年の傾向として、病院や薬局での実習内容に直結する実務的な問題が増えています。そのため、実務実習の中で積極的に取り組んだ経験は、その後の試験勉強をスムーズに進める大きな助けとなります。また、大学では過去問を中心とした卒業試験や試験前の国家試験対策講座などが用意されており、効率的に学べる環境が整っています。

最高学年である6年生は、卒業研究と国家試験対策を並行して進める必要があり忙しい日々となります。私は、過去問を繰り返し解き、友人同士で教え合うことで、勉強内容の理解を深めることができました。これまでの積み重ねを自信に変え、試験に臨みましょう。



卒業研究発表会

## 大学院生からのメッセージ



竹腰 祐斗 さん

岐阜・可児高卒

私は2017年に薬学科（6年制）に入学し、2023年に卒業しました。名古屋市立大学薬学部薬学科で過ごした6年間は多忙ではありましたが、非常に充実したものでした。

現在は、大学院薬学研究科に在籍しています。進学を決めたきっかけは、学部生時代の卒業研究です。研究活動を通じて、難治性疾患の新規治療法・治療薬の候補を創出し得る基礎研究の可能性を学び、自身もそのような研究に携わりたいと強く感じました。臨床実習や国家試験対策と並行して進める学部での卒業研究とは異なり、博士課程では研究に専念できる時間が大きく増えます。この期間中に、他大学の研究機関で最新の実験手法を学ぶ機会や、学際的な勉強会への参加、国際学会での発表など、数多くの貴重な経験を積むことができました。これらは博士課程でなければ得られなかった経験であり、研究力に加えて様々なスキルを身につけることができたと感じています。

薬学科では薬剤師国家試験の合格が大きな目標となりますが、その先の進路として博士課程進学についても考えてみてください。学部での学びがさらに深まり、新しい挑戦ができる貴重な機会になると思います。



# 薬学科



## 大学院進学について

臨床薬学の領域における研究能力をさらに高め、臨床薬学領域を国際的にリードする薬剤師・研究者を養成するために、平成24年度より4年一貫の大学院博士課程が設置されました。そこでは、より高度な専門的学術領域における知識や技能を体系的に習得するだけでなく、医療現場における様々な問題点を抽出し、それらを幅広い知識と経験により解決できる能力を培うことを目的としています。



### 1 大学院での研究活動

6年制学科と同様に、研究室に所属して以下のような臨床的な課題に取り組みます。

- 実践型研究（トランスレーショナルリサーチ、レギュラトリーサイエンス、医療安全など）
- 最先端研究（様々な疾患における薬物・生物療法やその体内動態、遺伝情報に基づく個々の患者に最適な薬物療法など）

### 2 地域の医療機関との連携による臨床教育・研究のサポート体制

臨床的な教育や研究を効率的に推進するために、臨床薬学教育研究センターを中心として名古屋市立大学病院や地域の病院・薬局などの医療機関等との積極的な連携体制を整備しています。

### 3 指導的な薬剤師、臨床薬学の研究・教育者の育成

日々進歩する医療と科学技術に対応できる人材として、「博士号」を取得した薬剤師に対する社会的ニーズは、今後より一層高まっていくと思われます。また、大学などのアカデミアで教育・研究職に従事するためには、「博士号」の取得は必須です。

「博士号」取得後は、より深い専門性を身に付けた薬剤師としてだけではなく、医療に直結した研究者として、以下のような職種での活躍が期待されています。

- 大学病院などの主要な医療機関における指導的な薬剤師
- 大学における臨床薬学の教育・研究職
- 国や地方の公共団体における研究職
- ライフサイエンス関連企業（製薬、環境衛生、健康食品、医療機器等）における研究・開発職

他にも、薬剤師としての職能が求められる様々な分野をリードする人材として活躍が期待されています。



## 卒業生からのメッセージ



安藤 駿佑 さん

厚生労働省（内閣府に出向中）  
R5年薬学科卒業  
愛知・菊里高卒

私は入学時、臨床現場で働く薬剤師になるものだとは漠然と考えていました。しかし、就職活動時に薬に関する制度の策定などに関わる仕事の存在を知り、厚生労働省（薬系技官）への就職を選びました。実際に働いてみると、想像以上に担当する分野が幅広く、驚くことばかりです。自分の周りで行われる仕事が生産に反映されていくことを通じて薬事行政に携わっていることを実感します。

現在は、内閣府にて食品添加物の安全性評価に携わっています。一見すると、薬学部の勉強と関わりが薄いと思うかもしれませんが、大学で学んだ毒性や体内動態に関する内容が、議論の中心になることもあり、大学時代の勉強を思い出す日々です。

名古屋市立大学は薬学部以外に様々な学部があり、学部の枠組みを越えて多くの方との出会いがありました。その時の経験は、今に活着していると感じています。勉強や研究はもちろん、アルバイトや部活動など様々な経験を通して、みなさまのキャンパスライフが充実したものになることを願っています。



長友 今日佳 さん

ノボ ノルディスク ファーマ株式会社  
R6年薬学科卒業  
兵庫・神戸大学附属中等教育学校卒

私は現在、製薬会社の臨床開発モニターとして、臨床試験を安全かつ正確に進めるために医療機関を支援・管理する仕事をしています。試験開始前には施設選定や契約・倫理審査の準備を行い、試験中はモニタリングを通じてデータの信頼性や被験者の安全を守ります。医師や病院スタッフ様と連携し課題を解決しながら試験を推進するにあたり、薬学部での学びや実習の経験が活きていると実感しております。直接患者様とお会いすることはありませんが、新薬開発に貢献し、医療の未来に影響を与えられる点に大きなやりがいがあります。

名古屋市立大学薬学部において共に切磋琢磨した仲間との出会いや、研究や実習で培った自ら考えて実行する力は、大きな糧となっています。

勉学だけでなく、サークル活動や大学祭などのイベントといった、様々な経験ができる環境があります。本パンフレットをご覧の皆様が、充実した大学生活を送り、社会で活躍されることをお祈りしております。



松尾 彩美 さん

ファイザー株式会社  
R6年薬学科卒業  
愛知・向陽高卒

現在は製薬企業の生産管理部に所属し、医薬品製造に関わるマテリアルおよびマスターデータ管理を担当しています。入社当初は別部署に所属していましたが、3年目に社内公募を通じて、以前から関心のあった現部署へ異動しました。実際に患者さんのもとに届く資材に関わり、資材変更やマスターデータ管理を通じて製造や供給の基盤を支える責任の大きい仕事であり、その分やりがいも感じています。

また、輸入品・輸出品も取り扱う中で、グローバルでの標準化が進んでおり、海外サイトの同僚と協働する機会も多くあります。プロジェクトの取りまとめに関わる場面もあり、異なるバックグラウンドのメンバーと連携しながら業務を進めることに刺激と面白さを感じています。

名古屋市立大学薬学部では、講義・実習・研究に加え、海外薬学研修にも参加し、多様な経験を積むことができました。進路の選択肢は幅広く、薬剤師、企業、行政など様々な道があります。皆さんもぜひ、自分なりの可能性を広げてください！



岡田 一希 さん

名古屋市立大学医学部附属東部医療センター 薬剤部  
R6年薬学科卒業  
大阪・生野高卒

私は現在、大学の附属病院で病院薬剤師として働きながら、臨床研究にも取り組んでいます。目の前の患者さんと向き合う臨床と、これからの医療に貢献する研究の両方に関わることにやりがいを感じています。

薬剤師の仕事というと、患者さんへの薬の説明や多職種協働での治療への貢献を思い浮かべる方が多いかもしれませんが、私も薬学部に入るまではそのようなイメージを持っていましたが、大学での学びや出会いを通じて、臨床と研究の両面で活躍する先輩方の姿に触れ、薬剤師にはさまざまな活躍の場があることを実感しました。

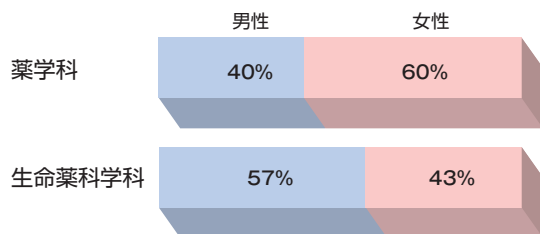
名古屋市立大学には全国から多様な仲間が集まり、互いに刺激し合いながら学べる環境があります。卒業後の進路も薬局・病院薬剤師に限らず、製薬企業での創薬や大学院での研究など幅広く、一人ひとりが自分らしい道を選ぶことも薬学部の魅力です。大学生活の中でたくさんの経験を重ね、自分の可能性を広げてほしいと思います。

## 薬学部の先輩たち

### 〈在学生データ〉

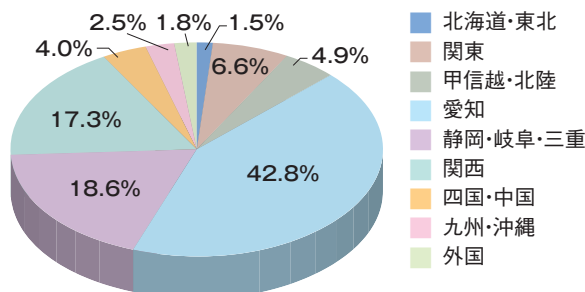
#### 在学生の男女比

薬学科は、女子学生が多く在籍しています。生命薬科学科は、男子学生が約6割を占めています。



#### 在学生の出身地

東海地方（愛知、岐阜、三重、静岡）の出身者は約6割ですが、北海道から沖縄まで全国各地より入学しており、多様性に富んだ、意欲的な学生が学んでいます。



### 〈クラブ・サークル活動〉

名古屋市立大学には、運動系クラブ27、文化系クラブ24、同好会が19あり、それぞれ活発な活動を行っています。薬学部生の多くも、これらのクラブ、同好会に参加し、めざましい活躍をしています。

#### オーケストラ部



大西 里奈さん

薬学科  
岐阜・岐阜高卒

名古屋市立大学管弦楽団は、週2～3回、滝子および田辺通キャンパスで活動し、夏と冬の演奏会に向けて日々練習に取り組んでいます。他学部や他大学の学生も所属しており、初心者から経験者まで、仲間と切磋琢磨しながら一つの音楽を創り上げることができる点が魅力です。練習日には、パート練習やセクション練習、指揮者の先生をお招きした合奏などを行い、最終的には団全体で意見を交わしながら演奏の完成度を高めています。また、東海地方の大学オーケストラと連携して開催される演奏会にも参加しており、多様な学生と交流を深める機会がある点も大きな特色の一つです。同じ目標に向かって努力する仲間と出会えることは、部活動ならではの醍醐味です。名古屋市立大学には多くの部活動やサークルがあります。学業と研究との両立に不安を感じる方もいるかもしれませんが、ぜひ興味のある活動に積極的に参加し、充実した大学生活を築いてください。

#### 馬術部



楠田 夏希さん

薬学科  
岡山・岡山朝日高卒

名古屋市立大学馬術部は、田辺通キャンパスの厩舎・馬場で活動しています。活動は毎日行っていますが、各自のペースで無理なく参加しています。部員はさまざまな学部の学生で構成されており、多くは大学から馬術を始めているため、初心者でも安心して挑戦できます。障害馬術や馬場馬術、総合馬術に取り組み、年に5回ほど大会にも出場して、日々の練習の成果を発揮しています。

お世話や騎乗を通じて馬と信頼関係を築いていく中で、知識や技術だけでなく、相手に寄り添い慈しむ姿勢も自然と身についていきます。命と向き合う活動には責任の重さや葛藤も伴いますが、馬と心が通じた瞬間や、できることが増えていく喜びは何物にも代えがたい魅力です。また、大会や競馬場でのアルバイトを通じて、他大学の学生とも交流を深めることができます。

大学生活の中でクラブやサークル活動に打ち込む時間は、自分の世界を広げ、成長につながる貴重な機会です。ぜひ、新しい一歩を踏み出してみてください。

#### バドミントン部



沖中 克樹さん

薬学科  
東京・世田谷学園高卒

私たち全学バドミントン部は、滝子キャンパスの体育館で週2～4回活動しています。

全学のため、様々な学部の人たちと繋がることができ、薬学部以外の友達もたくさん作ることができます。

部活というものの、大学からバドミントンを始めた初心者も多数在籍しており、皆で切磋琢磨しながら、大会で上位入賞を目指して練習に励んでいます。

また、新歓ドライブや市大祭への出店、合宿など、一年を通してたくさんのイベントがあります。他大学との交流の機会も数多くあり、学外にも友人の輪を広げることができるのも魅力の1つです。

名大にはたくさんの部活、サークルがあり、それぞれに魅力があります。きっと熱中できるなにかを見つけられると思います。一度きりの大学生活をより充実したものにしてください。

#### 準硬式野球部



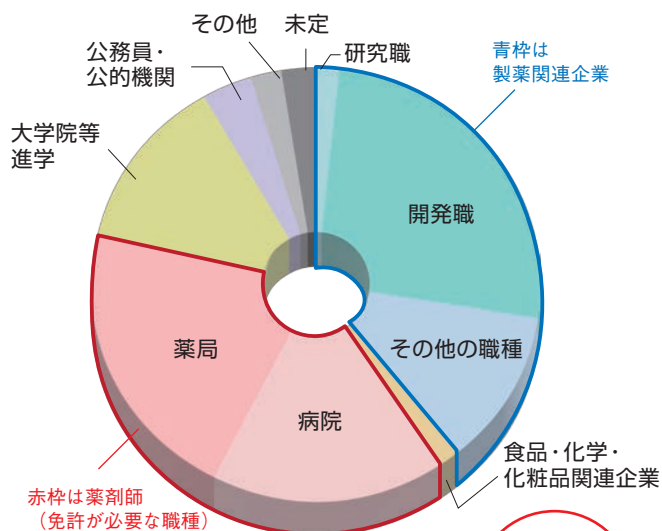
杉村 俊太さん

生命薬科学科  
京都・嵯峨野高卒

名古屋市立大学準硬式野球部は、週に2～3回活動しており、年に2回のリーグ戦と東海地区全体のトーナメント戦に向けて日々練習に取り組んでいます。現在、東海準硬式野球リーグの2部リーグに所属しており、1部リーグへの昇格を目指して活動を行っています。部員数は約50名で、現在は薬学部のキャンパスにある野球グラウンドがキャンパス改変による工事中で使用できないため、県内の野球場で練習をしています。部員は薬学部だけでなく、様々な学部からメンバーが集まっており、プレイヤーだけでなくマネージャーも多数在籍しています。また、他県への遠征や旅行などのイベントがあり、同期や先輩後輩との仲が深まり、たくさんの思い出を作ることができます。名古屋市立大学にはたくさんの部活やサークルがあり、素晴らしい仲間や素晴らしい思い出を作るチャンスがあります。ぜひ積極的にチャレンジし、充実したキャンパスライフを送ってください。

令和5年度～7年度

## 薬学科卒業生の進路



病院や保険薬局の他、さまざまな分野に就職しています。

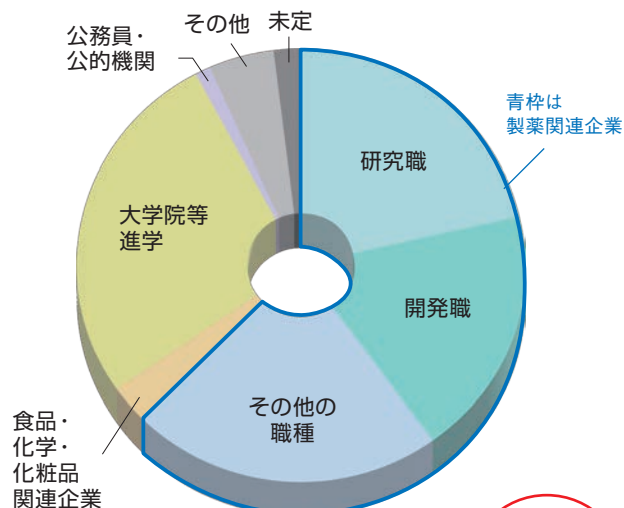
進路決定率  
**98.8%**

|               |                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 製薬関連企業        | 武田薬品工業、アステラス製薬、第一三共、中外製薬、エーザイ、小野薬品工業、塩野義製薬、協和キリン、住友ファーマ、旭化成ファーマ、Meiji Seika ファルマ、大塚製薬、大鵬薬品工業、持田製薬、ゼリア新薬工業、日本化薬、マルホ、MSD、日本イーライリリー、ファイザー、アッヴィ、ジョンソン・エンド・ジョンソン、 Bristol Myers Squibb、興和、ノボルディスクファーマ、小林製薬、栄研化学、中外臨床研究センター、シオノギヘルスケア、IQVIA、イービーエス、ICONクリニカルリサーチ、新日本科学PPD、シミック、パレクセル・インターナショナル |
| 病院薬剤師         | 名古屋市立大学病院、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院、トヨタ記念病院、豊田厚生病院、豊橋市民病院、一宮市立市民病院、知多半島総合医療機構、岐阜市民病院、浜松医科大学医学部附属病院、三重大学医学部附属病院、市立伊勢総合病院、国立がん研究センター中央病院、北里大学病院、大阪府立病院機構、大阪医科大学病院                                                                                                        |
| 薬局薬剤師         | 日本調剤、アインホールディングス、スギ薬局、ウエルシア薬局、クオール、サンドラッグ、ユタカファーマシー、さくら薬局、ミズ、総合メディカル、メディカルー光、アイサ、トヨタ生活協同組合（メグリア調剤薬局）、エバグリーン廣基、クラフト                                                                                                                                                                       |
| 食品・化学・化粧品関連企業 | コーセー、不二製油、富士フィルム和光純薬                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 公務員・公的機関      | 特許庁、愛知県庁、広島県庁、医薬品医療機器総合機構（PMDA）、農業・食品産業技術総合研究機構（NARO）、宮崎県警察科学捜査研究所                                                                                                                                                                                                                       |
| 大学院等進学        | 名古屋市立大学大学院、広島大学大学院、総合研究大学院大学                                                                                                                                                                                                                                                             |
| その他           | 富士通、ニデック、アマゾンジャパン、ジョブカン会計                                                                                                                                                                                                                                                                |

令和5年度～7年度

## 博士前期(修士)課程修了者の進路

※海外からの留学生を除く



大学院修了者のうち企業への就職を希望する学生の大半が製薬関連企業の研究職または開発職などに就職します。

進路決定率  
**99.1%**

|               |                                                                                                                                                                                                                       |
|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 製薬関連企業        | 武田薬品工業、第一三共、中外製薬、小野薬品工業、塩野義製薬、協和キリン、Meiji Seikaファルマ、田辺ファーマ、日本新薬、久光製薬、持田製薬、ゼリア新薬工業、科研製薬、JCRファーマ、MSD、日本イーライリリー、アストラゼネカ、興和、 Bristol Myers Squibb、マルホ、三和化学研究所、京都薬品工業、全薬工業、中外製薬工業、新日本科学、イービーエス、IQVIA、シミック、アールビーエム、新日本科学PPD |
| 食品・化学・化粧品関連企業 | 資生堂、日本メナード化粧品、伊藤園、シスメックス                                                                                                                                                                                              |
| 大学院等進学        | 名古屋市立大学大学院、航空大学校                                                                                                                                                                                                      |
| 公務員・公的機関      | 医薬品医療機器総合機構（PMDA）                                                                                                                                                                                                     |
| その他           | シンプレクス・ホールディングス、日本プロセス                                                                                                                                                                                                |



令和5年度～7年度

## 博士課程修了・博士号取得者の進路

※名古屋市立大学薬学部卒業生のみ

薬学科（6年制）の卒業生で、さらなる研鑽を希望する学生は、大学院博士課程（4年制）へ進学します。修了者の多くは、大学での教育・研究職や、大学病院等に就職し、指導的な役割を担います。製薬関連企業でも、薬剤師と博士号の両方の資格を活かせる職があります。

進路決定率  
100%

|            |                                            |
|------------|--------------------------------------------|
| 大学教員・研究職   | 東海国立大学機構 糖鎖生命コア研究所、神戸学院大学                  |
| 製薬関連企業・研究職 | アステラス製薬、第一三共、塩野義製薬、新日本科学PPD                |
| 公務員・公的機関   | 厚生労働省、科学技術振興機構（JST）、公益財団法人 がん研究会           |
| 病院薬剤師      | 名古屋市立大学病院、名古屋市立大学医学部附属西部医療センター、高知大学医学部附属病院 |
| 薬局薬剤師      | ウエルシア薬局、スギ薬局、マエノ薬局                         |
| その他        | 弁理士法人 オンダ国際特許事務所                           |

令和5年度～7年度

## 博士後期課程修了・博士号取得者の進路

※名古屋市立大学薬学部卒業生のみ

生命薬科学科（4年制）の卒業生で、博士前期課程（2年制）を修了、修士号を取得した後、さらなる研鑽を希望する学生は、大学院博士後期課程（3年制）へ進学します。修了者の多くは、大学や製薬関連企業で、教育・研究職に従事し、指導的な役割を担います。

進路決定率  
100%

|             |                 |
|-------------|-----------------|
| 大学教員・研究職    | 徳島大学、星薬科大学      |
| 製薬関連企業・研究職  | 第一三共、中外製薬       |
| 化学・食品・化粧品会社 | 日興薬品工業、JSR      |
| 公務員・公的機関    | 愛知県庁、国立長寿医療センター |

## OBからのメッセージ



林 きよみ さん

春日井市薬剤師会会長  
アイセイ薬局  
S58学部卒

現在の薬局薬剤師の仕事は対人業務にシフトしてきています。薬を正確に患者さんに渡すだけでなく、薬学的観点から安全安心な薬を提供し、服用後の効果・副作用もフォローしていきます。また地域住民に役立つ薬局・薬剤師であることも求められています。私は調剤薬局で店長として勤務しながら、春日井市薬剤師会会長も務めており、患者さん・社会から求められる薬剤師を実現するために力を尽くしています。市長を交えた会議に出席することも多く、地域における薬剤師の存在の重要性を改めて感じています。今思えば、大学での勉強と研究が現在の仕事の基礎となっています。同級生と協力しながら医薬品の合成を何時間もかけて行ったこと、卒業研究では当時出始めたばかりのPCでプログラムを組み、動物実験のデータを処理していたこと等、全て現在の仕事の原点となり、自信につながっています。また、4年間所属していたオーケストラ部ではコンサートマスターを務めるまでに熟練して活動していました。他学部・他大学の学生もいましたので、社会における人間関係形成の基礎を学んだと思います。名古屋市大の厳しくも明るい校風が自分を大きく成長させてくれました。

薬学部での6年間は人生の基礎の全てを学ぶ貴重な時間です。充実した学生生活を過ごし、卒業後は医療人として社会に求められる人になって欲しいと切に願っています。



日比 陽子 さん

名古屋市立大学 大学院医学研究科  
臨床薬学分野 教授  
名古屋市立大学病院 薬剤部長  
H4学部卒 H9博士後期課程修了

薬剤師は医療チームの一員として、医師・看護師・栄養士など様々な医療スタッフと協力しながら患者の治療に取り組んでいます。病院で多くの医療スタッフと共に働くだけでなく、地域医療のチーム内でも薬剤師の活躍の場は増えていきます。薬剤師の役割は、薬の化学的性質や薬が作用する仕組みなどの専門知識を駆使して、患者の薬物治療が適切に行われ治療の目標に向かうように導くことです。医師が処方した薬の量や使い方を確認し、問題があれば医師に処方修正の依頼や別の薬の提案をします。また患者には薬の説明を行うなど安心して治療に向かえるようにサポートします。さらに医学的疑問を見つけた時には医師と共に研究をおこない医療の進歩に努めています。名古屋市大は医・薬・保健医療の3医療系学科と病院を持つことから、カリキュラムでもクラブ活動でも医学生や看護学生と近い距離で学ぶことができるのが魅力です。学生時代に構築した人間関係は将来にわたって力になると思います。皆さんも是非、名古屋市大薬学部で学び、仲間と共に活躍しましょう。



岩尾 岳洋 さん

名古屋市立大学 大学院薬学研究科  
臨床薬学分野 教授  
H12学部卒 H17博士後期課程修了

薬学研究科の博士後期課程を修了後、大学病院にて薬剤師として勤務し、現在は母校である名古屋市立大学の臨床系教員として臨床教育と研究に従事しています。臨床の現場では薬剤師として薬物療法に携わりながら、医療スタッフと連携し、実際に薬を使用する患者さん一人ひとりと向き合ってきました。こうした経験を通じて、未解明な課題に対し、薬剤師の視点から研究を行い、自らエビデンスを構築していくことの重要性を強く実感しました。現在はこれまでの臨床経験を基盤に、薬学研究の意義や臨床教育の重要性を改めて見つめ直し、それらをどのように結びつけて医療へ貢献していくかを常に考えながら、教育・研究活動に取り組んでいます。

名古屋市立大学では「薬を創ること」と「薬を使うこと」の双方を体系的に学修することができ、基礎薬学から臨床薬学に至るまでの幅広い領域の学びと研究に挑戦できる環境が整っています。ぜひ、熱意と好奇心を持って学び、ここで得た知識や経験を将来の活躍につなげていただきたいと思います。



### 渥美 文昭 さん

株式会社杏林堂薬局 代表取締役会長  
S62学部卒 H1経済学部卒

私が経営する杏林堂薬局は、店舗数93店舗・売上高1250億円のドラッグストア企業です。私は、名市大薬学部を卒業後、同じ名市大の経済学部も卒業するという珍しいキャリアを持っています。薬学部の研究室がとても楽しかったので、研究者の道に進む事を考えていましたが、大学4年時に、父親とアメリカのドラッグストアを見学に行き、『日本にこんな店があったら、とても便利になるぞ!』と感銘を受け、『日本にアメリカ型の本格的なドラッグストアを作ろう!』と、将来の展望を持ちました。どうせ薬局経営をするのなら、本格的に経営学を勉強して、『経営のプロ』として臨みたいと考え、名市大の経済学部の経営学研究室に編入させていただきました。

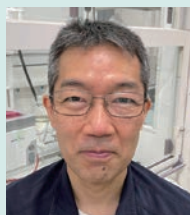
現在は、薬剤師・医療関係者としての知識・経験と、経営のプロとしての知識を活かして、ドラッグストア経営に進進しております。薬学部を卒業しても、薬剤師になるだけでなく、何にでもなれます!ビジネスの世界でも、本気で生きて行けます!薬学部は守備範囲が広く、将来、ツブしが効きます!可能性は、無限に広がっています!皆様の、『ヤル気』と、『頭の柔らかさ』次第です!名市大薬学部で様々な経験をして、皆様方の可能性を広げて、大きく羽ばたいて活躍していただける事を期待しています!



### 伊藤 佐生智 さん

愛知学院大学薬学部衛生化学講座 教授  
H5学部卒 H11博士後期課程修了

私は名古屋市立大学薬学部を卒業後、そのまま博士課程に進学し、私立・公立大学の教員、研究所の研究者として、教育・研究の道を歩んできました。学生時代はがんの研究に取り組みました。当時は自ら選んだ研究テーマに自由に挑戦させていただき、先生方には常に温かく、力強いサポートをいただきました。将来研究者として独り立ちするために必要な知識、思考、そして研究マインド、その全てを名市大は授けてくれました。大学院修了後は細胞骨格、非結核性抗酸菌、血液透析、接着分子など様々な分野の研究に携わり、現在は細菌毒素とアレルギーについて研究しています。一見研究分野はばらばらに見えるかもしれませんが、名市大で培った「未知を既知にする」好奇心と、「人々の健康を守る」使命感を原動力に、私は研究活動を続けてきました。名古屋市立大学薬学部には教育・研究・医療の最前線で活躍される優れた先生方が集い、国内外で高く評価される成果を挙げ続けておられます。名古屋市立大学薬学部は学生一人ひとりが自分の興味と真剣に向き合い、高い志を持って研究に打ち込める恵まれた環境と充実した研究設備を兼ね備えています。即ち、名古屋市立大学薬学部とは将来の世界と日本の医療を牽引する人材を育む「知の揺籃」であります。皆さん、この素晴らしい大学で自分の可能性を見出し、それを最大限に発揮してください。我が後輩らの活躍に心から期待します。



### 櫻木 明 さん

田辺ファーマ株式会社 プロダクトサプライ本部  
SCM部 環境安全グループ マネージャー  
H4学部卒 H6博士前期課程修了

唐突ですが、みなさん理科の実験は好きですか?リトマス試験紙の色の変化を確認したり、酸素や水素を発生させて炎を近づけてみたり、理科室でワクワクした思い出はありませんか?教室での先生の授業よりもそんな理科の実験の方が記憶に残っているという方も多いのではないのでしょうか。

私も大学の授業で思い出されるのは、化学・物理・生物の実習をたくさんさせてもらったことです。実験がうまくいかないことも多々ありましたが、仲間と一緒に取り組んだことは良い思い出です。卒業研究や大学院では化学合成を専門にしたため、生物や物理にはあまり触れることはありませんでしたが、製薬会社に入って新薬のプロジェクトに関わっていると学生時代の知識が活かされることもありました。

私は製薬会社でプロセス化学という研究業務に長年携わっていました。プロセス化学者は、薬の有効成分を安全に、安く、高品質で製造できる方法を研究し、工場で大規模に製造できるまでに仕上げる研究者です。患者さんに安心して服用いただくため、若い研究員とともに実験データを積み重ねていましたが、現在は違う立場で彼らをサポートしています。

私の学生時代とは見違えるほど綺麗で立派になった名市大の校舎で皆さんの未来を切り開く学生生活を送ってみませんか。



### 香西 麻里子 さん

ファイザー R&D合同会社 薬事統括部  
開発薬事第二グループ マネージャー  
H10学部卒 H12博士前期課程修了

博士前期課程修了後にファイザー(株)の臨床開発部門に就職し、新薬の開発における規制当局(厚生労働省や医薬品医療機器総合機構)への対応部門で働いています。

新薬の開発は十数年に及ぶ長い年月と莫大な投資を要する一大プロジェクトであり、企業のみならず世界中の研究者、医療者、患者、行政との協業が不可欠です。科学の進歩により日々革新的な治療法が生み出されていますが、未だニーズが満たされない領域も多く、国内外の様々な関係者と協業し、常に新たな課題に取り組んでいます。

大学時代に培ったことが現在の仕事に繋がり、世の中で必要とされる新薬の開発に携わり、それを持つ人たちに届けることにより、微力ながらも医療に貢献する仕事の一端を担えることに感謝と喜びを感じています。

学生時代は様々なものに出会い、吸収し、悩み、挑戦し、視野を広げ、人間として成長できるかけがえのない時間です。名市大の恵まれた環境の中で、のびのびと学び、学業はもちろん多くのことを体得してほしいと思います。それらの経験が、どのような形であれば必ず将来につながるはずで。そして、将来の夢や情熱を傾けられるものをぜひ見つけてほしいです。

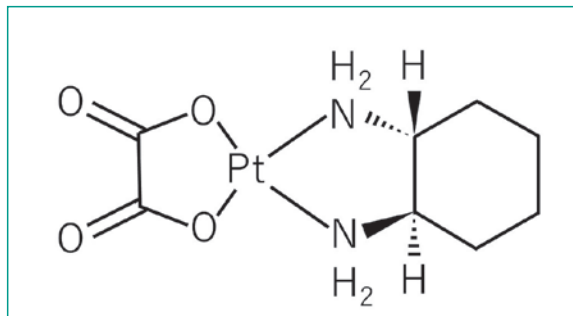
# 名市大薬学部から生まれた医薬品・技術

## オキサリプラチン

オキサリプラチンは、シスプラチンなどと同じ白金系抗がん剤の1つで、名古屋市立大学薬学部の研究から誕生した薬です。様々な白金錯体に関する抗がん作用の研究から、当時の喜谷喜徳名誉教授（故人）らによって開発されました。特に大腸がんの治療に効果が高い抗がん剤として、欧米や日本で使用されています。



喜谷喜徳名誉教授



オキサリプラチンの構造式



●商品名：エルプラット

2005年発売 292億円（2010国内8位）

進行・再発大腸がんなど

## F-hiSIEC™、新型コンパニオンプレート

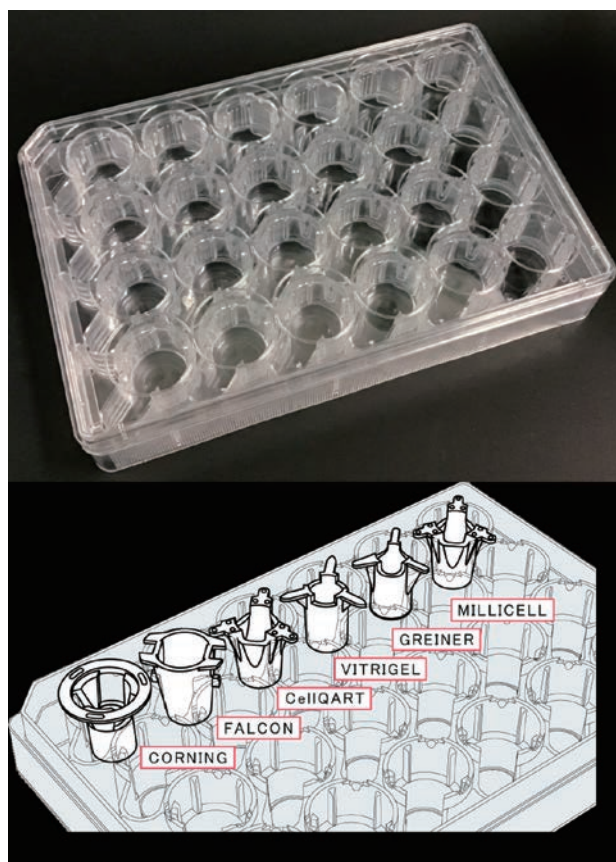
医薬品の多くは経口投与され、その大部分が小腸から吸収されることから、小腸での薬物の吸収や代謝は、薬の効果や副作用の予測に重要です。名古屋市立大学 大学院薬学研究科 松永民秀名誉教授らが確立した分化誘導技術と共同研究先である富士フィルムの技術と組み合わせてヒトiPS細胞由来腸管上皮細胞を開発、F-hiSIEC™として2019年9月に上市されました。F-hiSIEC™は、ヒト生体に近い機能を有し、薬物の吸収性を高精度に評価できる画期的な細胞であるため、経口剤開発の効率化や食品成分の吸収評価に大きく貢献するとして製薬企業や食品企業等で使用されています。また、F-hiSIEC™等による薬物の透過性評価には、セルカルチャーインサートが使われ、その受け皿としてコンパニオンプレートが用いられますが、既存品は培地交換が煩雑で、自動化が困難でした。松永教授らは、自動細胞培養装置での培養を可能にし、培地交換や試料回収を容易にする新型コンパニオンプレートを伸晃化学と共同開発し、住友ベークライトよりスミロン コンパニオンプレートとして2025年4月に上市され、欧米や日本で使用されています。



松永民秀名誉教授



F-hiSIEC™



●スミロン コンパニオンプレート

上：本体、下：6種類のインサートの嵌合が可能

・培地交換等プレートを傾けた際でもインサートが安定

・自動培養装置などへの適用にも好適

## ベニジピン

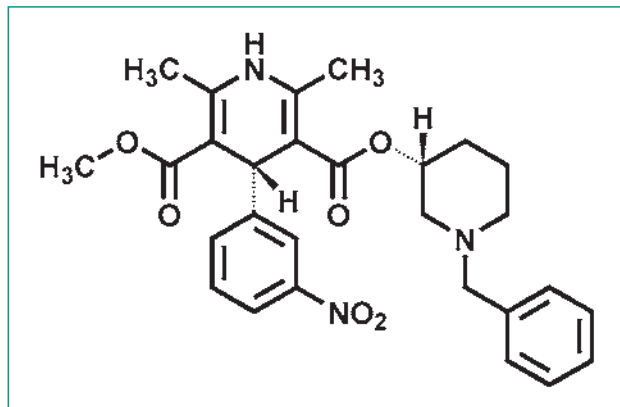
わが国で最も患者数が多い病気は何でしょうか。それは「高血圧」です。高血圧の人は、約4,300万人いると試算されており、日本人3人に1人は高血圧ということになります。高血圧は自覚症状がないため、あまり重く受けとめてもらえませんが、心臓、脳、腎臓の病気につながる危険な病気です。そのため、高血圧は「サイレントキラー（沈黙の殺し屋）」ともいわれています。

高血圧の薬の中で最も多く処方されているのが、カルシウムブロッカーです。カルシウムブロッカーは、血管を広げて、高くなった血圧を正常範囲まで下げる薬です。

薬品作用学（現、細胞分子薬効解析学）では、先々代の渡邊稔名誉教授（故人）と先代の今泉祐治名誉教授が、カルシウムブロッカー「ベニジピン（商品名：コニール）」を製薬企業（協和発酵工業株式会社（現、協和キリン株式会社））と共同開発しました。

高血圧は高齢者に多い病気ですが、開発当時は1日3回服用する薬しかありませんでした。そこで、1日1回の服用でも効

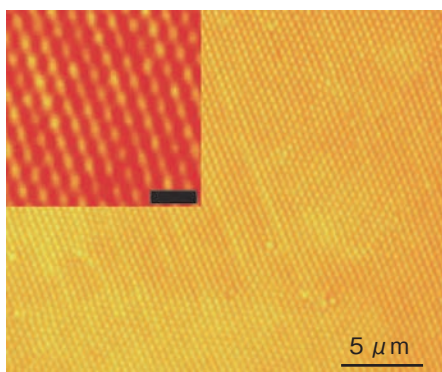
果が続く「ベニジピン」が開発されました。現在では、新しいタイプの薬が登場していますが、今でも「ベニジピン」は現役で使われています。



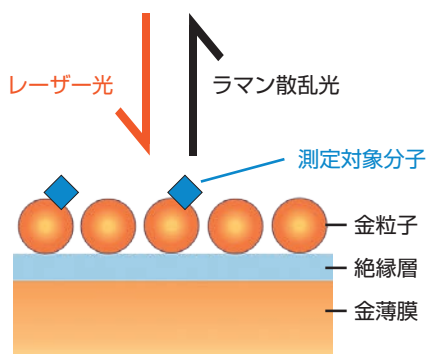
ベニジピンの構造式

## 微量分析のための超高感度な表面増強ラマン散乱（SERS）基板

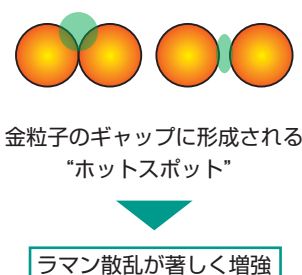
金コロイド粒子を平板上に規則正しく配列させた、超高感度分析用の基板を開発しました。本基板は、コロイド・高分子物性学分野の研究メンバーや学生・大学院生を中心に、独自のコロイド結晶化技術とJAXA宇宙実験で培った粒子配列制御技術を活用して作製したものです。光照射時に分子構造の情報を含んで散乱される「ラマン散乱」と呼ばれる微弱な光を、1000万倍以上に増強できます。生体分子や有機分子をzepto ( $10^{-21}$ ) モルレベルで高感度に検出でき、簡便・低コストでその場分析を可能にします。医療の早期診断、感染症対策、環境モニタリングなど幅広い分野への応用が期待されています。現在、山中淳平名誉教授、平嶋尚英名誉教授、豊玉彰子准教授らを中心に、社会実装に向けた取り組みが進められています。



金粒子の配列構造（コロイド結晶）



基板と測定の様式図



ホットスポットの説明



山中淳平名誉教授



平嶋尚英名誉教授



豊玉彰子准教授

## キャンパス案内



開学70周年記念の時計塔



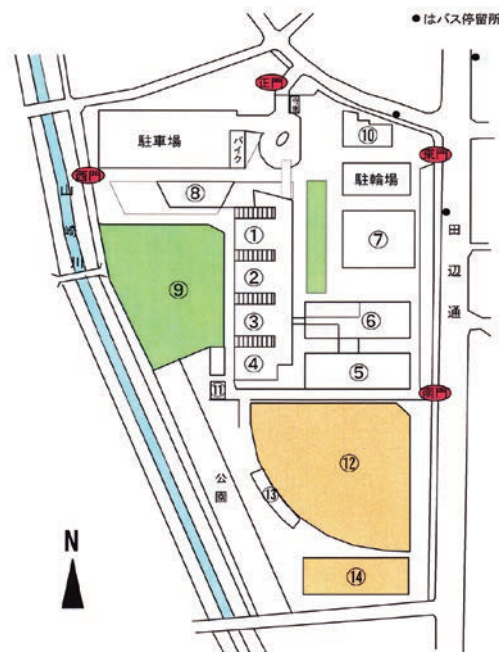
講義・図書館棟

### 田辺通キャンパス

薬学部のある田辺通キャンパスには、講義・図書館棟(①②)、実習棟(③④)、研究棟(⑤⑥)、先端薬学研究施設・共同利用研究施設、創薬基盤科学研究所、喜谷記念がん研究センター(⑦)、カフェテリア(⑧)、薬用植物園(⑨)、薬友会館(⑩)、などの施設があります。研究棟のすぐ隣には、クラブ棟(⑪)、野球場(⑫)、廬舎(⑬)、馬場(⑭)があります。

講義・図書館棟は、講義室と図書館(総合情報センター田辺通分館)、宮田専治記念ホールからなります。宮田専治記念ホールは、285人収容可能な大ホールで、講義や試験だけでなく、講演会などさまざまなイベントが行われます。さらに大講義室と中小の講義室が合わせて6つあります。実習棟とは全長100mに及ぶ全面ガラス張り2層吹き抜けのキャンパスモールで結ばれています。2階にある総合情報センター田辺通分館では、主に薬学・化学・生化学とその関連領域の資料を収集し、人文・社会科学を始め広く一般教養資料を収集する山の畑分館や、医学・看護学系の資料を収集する川澄分館など他分館も連携し、薬学部の学生・院生・教員を中心とした学内利用者へ各種サービスを提供する一方で、学外・地域の方々への専門資料の公開も進めています。

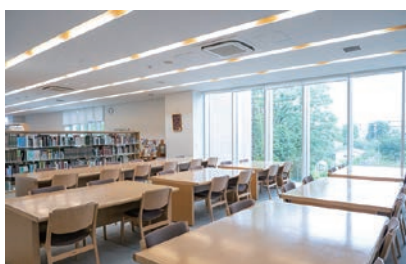
実習棟は、基礎薬学の実習室(化学系実習室と物理・生物系実習室)のほか、6年制薬学教育に対応した模擬病室、模擬薬局、OSCE室、CBT室からなります。各種実習のための最新機器に加え、効率的に実習をすすめるためのAV設備、各実習室を映像録画できるネットワークカメラシステムを完備しています。



大講義室



宮田専治記念ホール



図書館



模擬薬局



キャンパスモール

薬学部の正門を入ると左手にレンガ色の外壁と正面に大きなガラス窓を配した3階建の薬友会館があります。この建物は薬学部創立百周年を記念して薬友会が募金によって建設し、1984年7月に名古屋市に寄贈されたものです。1階には茶室「薬炉庵」、2階に懇親会にも使用できる研修室（和室30畳）、3階には水野メモリアルホールがあり、学生、教職員、卒業生の集会、憩いの場として利用されています。

その隣には、先端薬学研究施設・共同利用研究施設・創薬基盤科学研究所・喜谷記念がん研究センターがあり、実験動物飼育施設、遺伝子組換え実験施設などが入っています。また、質量分析装置、共焦点レーザー顕微鏡、フローサイトメトリーなど様々な最新の高度研究機器がおかれています。平成28年には、創薬基盤科学研究所が文科省の「共同利用・共同研究拠点」として認定され、わが国の創薬研究の拠点として様々な活動をおこなっています。さらに、本学薬学部教授で優れた抗癌剤を開発された喜谷喜徳先生のご業績を記念して、「喜谷記念がん研究センター」を設置し、喜谷財団のご支援で創薬のための最新鋭機器が新たに導入されました。科学技術の進展はめざましく、新しい研究機器も次々と開発されています。研究に携わる教員や学生の不断の努力はいうまでもありませんが、本施設の最先端の研究設備が薬学部における創薬科学や生命科学の研究と教育を強力にサポートしています。

正門から向かって奥の建物が研究棟です。研究棟には、薬学部の各研究室に加え、共用機器室、NMR室などの共同利用の研究施設もおかれ、充実した研究環境となっています。ピロティ、ロビー、中庭、各階に設けられたラウンジなど斬新なデザイン・設計が施されています。研究室配属での卒業研究、大学院進学後の研究活動は研究棟で行います。



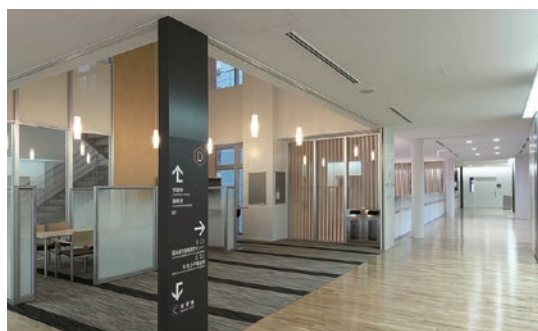
薬友会館



先端薬学研究施設 共同利用研究施設  
創薬基盤科学研究所 喜谷記念がん研究センター



研究棟入口



研究棟内のラウンジ



薬用植物園

薬用植物園では、学生に薬用植物や生薬についての生きた知識を学んでもらうことを目的として、日本薬局方に収載されている生薬や漢方薬の原料となる植物の他、西洋ハーブや香料、染料などの原料となる有用植物を中心に、約400種の植物の栽培と収集を行っています。また、遺伝子資源の保護という立場から貴重な薬用植物資源の収集、保存にも取り組んでいます。原則的に非公開ですが、年に2回、市民の方を対象に公開講座を開催しています。

カフェテリアには、名古屋市立大学生生活協同組合が運営する購買部と食堂があり、地元の方も利用されています。

野球場、馬場は、それぞれ名古屋市立大学硬式・準硬式野球部と馬術部が練習に使用しています。野球場は、各研究室対抗ソフトボール大会の試合にも利用される他、休日には地元のリトルリーグも利用しています。



カフェテリア



厩舎

## キャンパス周辺

名古屋市立大学薬学部キャンパスのある名古屋市瑞穂区は、名古屋市の中央やや南に位置し、薬学部キャンパスを始め教育施設や博物館などが集まる文教地区となっています。地下鉄名城線、桜通線、市バスなどの交通網が整備され、明るく住み良い文化的な生活ができる区として、進展が期待されます。

薬学部キャンパスのすぐ隣には桜の名所として名高い山崎川が流れ、川沿いと山崎川公園は区民の憩いの場となっています。

また、近くには、名古屋市総合運動公園があり、パロマ瑞穂陸上競技場をはじめ各種スポーツ施設が整備されています。

その他、周辺には桜山地区の名古屋市立大学医学部および附属病院や、滝子地区の教養教育および部活動、サークル活動の拠点となるキャンパスが位置しており、学生向けの店舗や飲食店が充実しています。さらに少し足を延ばせば、熱田神宮、東山公園、名古屋城、バンテリンドームナゴヤといった名所を楽しむことができます。



名古屋城



バンテリンドームナゴヤ



山崎川

## 薬学部キャンパスとその周辺の環境



余 明香里 さん

薬学科  
三重・津高卒

田辺通キャンパスは、閑静な住宅街に位置し、桜の名所として知られる山崎川沿いにあります。最寄りの瑞穂区役所駅からキャンパスへ向かう道には「汐路桜ロード」が続いており、春には満開の桜を楽しみながら通学できます。

キャンパス内の施設は新しく整備されており、快適な環境の中で薬学の学習や研究に取り組めます。ガラス張りの校舎は明るく開放的で、日々気持ちよく過ごせるのも魅力です。また、薬用植物園が併設されており、講義で学んだ知識を実際の植物と結びつけて理解を深められます。

教養教育が行われる滝子キャンパスへは徒歩で移動できるため、サークル活動などの課外活動にも積極的に参加しやすい環境です。さらに、名古屋駅や栄といった市内中心部へのアクセスも良く、学業とプライベートのメリハリが効いた学生生活を送れます。

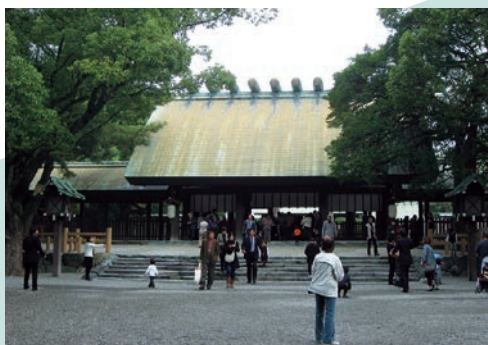
豊かな自然と充実した教育・研究環境に恵まれた田辺通キャンパスで薬学の勉強に励んでみませんか。



名古屋市博物館



パロマ瑞穂陸上競技場



熱田神宮

# 学生生活 Q & A

学生生活に関して、よくあるご質問と回答

## Q1 クラブやサークル活動はできますか？

**A1.** 薬学部は講義や実習が多く忙しいですが、その合間を縫って、クラブ・サークル活動も活発です。全学のクラブに加えて、薬学部生だけのための部活もあります。

## Q2 食堂などは充実していますか？

**A2.** 田辺通キャンパス、滝子キャンパスともに生協があり、食事に限らず、生活用品の購入ができます。食堂では、栄養バランスを考えたメニューが豊富に用意されており、毎日楽しく食事ができる環境です。

## Q3 入学後、勉強などの悩みについて相談できる機会はありますか？

**A3.** 薬学部では、学生約8人につき1人のチューター教員がつき、学業等の悩みなど、いつでも学生の相談を受け付けています。悩み事があれば遠慮なく、相談に来てください。また、滝子キャンパスでは、専門のカウンセラーを配置した保健管理センターを設けています。

## Q4 奨学金などの経済的な援助を受けることはできますか？

**A4.** 名古屋市立大学では、日本学生支援機構、民間、地方公共団体などの各種奨学金給付団体への推薦を行っています。現在、日本学生支援機構奨学金については、全学生のうち約4分の1が貸与を受けています。また、経済的理由により、授業料の納付が困難で、かつ、学業優秀と認められた場合には、選考のうえ、授業料を減免する制度を設けています。

## Q5 アルバイトはできますか？

**A5.** アルバイトをしている学生は少なくありませんが、講義、実習などで時間的余裕は少ないのが現状です。アルバイトをする場合は、あくまでも学業優先を念頭において、しっかり両立することを心がけましょう。

## Q6 入学後に転学科はできますか？

**A6.** 薬学科ならびに生命薬科学科の定数は厳守しなければいけません。このため、入学後に転学科することは非常に困難です。ただし、一般選抜により入学した場合に限り、1年次および2年次の2月中に転学科許可申請書を提出し、様々な条件がすべて満たされれば可能です。

## 薬学祭

### 薬学生が企画、運営する一大イベント

薬学部の学生が企画から当日の運営まで行う薬学祭は、毎年大変な盛り上がりを見せます。

薬学祭では、「製薬体験」など市民の方にも薬学に触れていただくことができる企画が目白押しです。みなさんも薬学部に入學して、薬学祭で大いに活躍してみませんか？



キャンパス内の  
模擬店



盛り上がるステージ



子どもたちと触れ合う  
製薬体験

### 実行委員長（令和7年度）

青沼 徹 さん

生命薬科学科  
北海道・北見北斗高卒



薬学祭は毎年10月に開催される、薬学部の学生が主体となって運営する大学祭です。お化け屋敷や模擬店、カフェなど、老若男女が楽しめる企画に加え、製薬体験や薬草園ツアーなど、薬学部ならではの企画も充実しています。子どもたちに薬学や化学のおもしろさを、体験を通して伝えられることは薬学祭の大きな魅力で、楽しそうに参加してくれる姿に私たちも大きなやりがいを感じています。また、地域の方々など多くの方が来場し、毎年大変にぎわう薬学部的一大イベントとなっています。規模が大きい分、運営の難しさを感じる場面もありますが、先輩や後輩、先生方、地域の皆さまなど、多くの方々の協力があり、毎年素晴らしい薬学祭をつくり上げることができています。さらに、2027年度からは理学部も参加する予定で、これまでに以上に規模が大きくなり、より多彩で楽しい企画が生まれることが期待できます。名古屋市立大学ならではの学びと楽しさが詰まった薬学祭を、私たちと一緒に盛り上げていきましょう。皆さまのご入学を心よりお待ちしております。



## 名古屋市立大学薬学部に入学するには

入学試験は3種類あります。みなさんの適性に合う試験を選んでください。  
もちろん全て受験することもできます。

|              | 出願時期          | 試験日   | 合格発表  | 試験科目     | 募集定員                                   | 備考                       |
|--------------|---------------|-------|-------|----------|----------------------------------------|--------------------------|
| 学校推薦型<br>選抜A | 11月上旬         | 11月下旬 | 12月上旬 | 小論文及び面接  | 生命薬科学科4名<br>薬学科6名                      | 1高校からの推薦<br>人数に制限はありません。 |
| 学校推薦型<br>選抜B | 1月上旬～中旬       | 2月上旬  | 2月中旬  | 面接       | 生命薬科学科8名 薬学科15名<br>名古屋市高大接続推薦枠各学科2名を含む |                          |
| 公立大学<br>中期日程 | 1月下旬～<br>2月上旬 | 3月8日  | 3月下旬  | 英語、数学、化学 | 生命薬科学科38名<br>薬学科44名                    |                          |

### 幅広い学びで豊かな人間形成を育む教養教育科目

1年生は、滝子キャンパスにおいて教養科目を中心に学習します。名古屋市立大学は7学部からなる総合大学であり、教養科目にも幅広いメニューが用意されています。また、英語教育には特に力を入れており、英語科目の6割以上がネイティブスピーカーによる少人数授業です。さらに、英語検定やTOEICなどの試験で一定の成績を得た場合、正式な単位として認定されます。他にも、ボランティア活動による単位認定制度もあります。

### 入学試験に関して、よくあるご質問と回答

**Q1** 他の国公立大学の学校推薦型選抜に出願しているのですが、名古屋市立大学薬学部の学校推薦型選抜Aにも出願できますか？

**A1.** できません。本学部の学校推薦型選抜Aに出願する場合、合否発表の前に他の国公立大学の学校推薦型選抜に出願することはできません。

**Q2** 名古屋市立大学薬学部の学校推薦型選抜Aで不合格になった場合、他の国公立大学に出願できますか？

**A2.** できます。合格発表は12月なので、不合格となった場合は他の国公立大学に出願できます。

**Q3** 学校推薦型選抜に合格した場合、辞退して他大学または他学部に進学することはできますか？

**A3.** できません。合格した場合に入学を確約できる方だけが出願できます。

**Q4** 学校推薦型選抜Aにおける、調査書、小論文、面接の点数比率や採点基準は公表されていますか？

**A4.** 公表しておりません。

**Q5** 名古屋市立大学薬学部の学校推薦型選抜Bと、中期日程試験の両方に同時に申し込むことはできますか？

**A5.** できます。

**Q6** 名古屋市立大学薬学部の学校推薦型選抜Bと、他の国公立大学(前期・後期)に同時に申し込むことはできますか？

**A6.** できます。ただし、名古屋市立大学薬学部の学校推薦型選抜Bと他の国公立大学の学校推薦型選抜に同時に申し込むことはできません。

※入学試験制度や実施要項は変更される可能性がありますので、実際の出願に際しては事前に確認してください。

### 在校生からのメッセージ



田邊 桃萌さん

薬学科  
京都・立命館高卒

名古屋市立大学薬学部には、6年制の薬学科と4年制の生命薬科学科があります。

薬学科は薬剤師の育成、生命薬科学科は創薬や生命科学分野で活躍する研究者の育成を目的としています。私が学んでいる薬学科の大きな魅力として、基礎から臨床、さらに研究に至るまで、薬剤師に求められる知識や経験を身につけられる教育体制が挙げられます。まず、低学年には、医学科・保健医療学科との連携実習を通じて、多職種が連携して医療に携わることの重要性を学ぶことができます。また、講義では有機化学や薬理学などの専門科目を学ぶことで、薬の作り方から薬による治療に至るまで幅広く理解することができます。さらに、3年次後期からの研究室配属では、実験やその結果に基づく考察を通じて、論理的思考力や問題解決能力を培うことができます。これらの力は、将来、現場で主体的に考え行動できる薬学人となるための基盤になると考えています。本学の学生は以上のカリキュラムを通じて、臨床で活躍できる薬剤師になるため日々研鑽を積んでいます。



山下 爽さん

生命薬科学科  
愛知・向陽高卒

生命薬科学科では、薬や医療を中心とした科学を幅広く学びながら、研究の基礎を身につけ、主に製薬関連企業などで活躍する研究者の育成を目的としています。入試制度には、学校推薦型選抜A・Bと一般選抜(中期日程)の3種類があり、さまざまな評価基準による入学試験が用意されています。また、私のような名古屋市立高校の生徒を対象とした名古屋市高大接続推薦枠も設けられています。3年後期の研究室配属までは、研究の基盤となる薬学専門科目を授業や実習を通して体系的に学ぶことができます。さらに、研究室紹介や見学・体験の機会も豊富に用意されているため、時間をかけて自分の興味や関心にあった研究室を選ぶことができます。このような環境の中で、キャリアパスについて主体的に考える力を養えることも大きな魅力です。4年制課程ではありますが、ほとんどの学生が大学院博士前期(修士)課程へ進学し、より専門的で高度な研究に取り組んでいます。



# 名古屋市立大学 薬学部 大学院薬学研究科



〒467-8603 名古屋市瑞穂区田辺通3-1 TEL (052)836-3402 FAX (052)834-9309  
<https://www.nagoya-cu.ac.jp/phar/index.html>

## ACCESS

### ●名古屋駅(JR、名鉄、近鉄)から

地下鉄(桜通線(徳重行))「名古屋」(約17分)→「瑞穂区役所」下車、1番出口から東へ徒歩約15分

### ●金山駅(JR、名鉄)から

市バス(金山16 瑞穂運動場東行)「金山」(約20分)→「市大薬学部」下車、徒歩1分

又は、(金山14 瑞穂運動場東行)「金山」(約20分)→「市大薬学部」下車、徒歩1分

地下鉄(名城線(左回り))「金山」(約14分)→「瑞穂運動場東」下車、1番出口から北へ徒歩約15分

又は、(名城線(左回り))「金山」(約16分)→「総合リハビリセンター」下車、1番出口から西へ徒歩約15分





# NAGOYA CITY UNIVERSITY

## Faculty of Pharmaceutical Sciences